

① レディーミキスト コンクリートの種別 ② 計算基準強度	第 1 章 × 日 本		(表 1-1)									
	普通コンクリート	西 工 業 所										
<table border="1"> <tr> <td>F_c N/mm²</td><td>西 工 業 所</td></tr> <tr> <td>• 180</td><td></td></tr> <tr> <td>※ 210 スランプ</td><td>基礎 18</td></tr> <tr> <td>• スランプ</td><td>床版 15</td></tr> <tr> <td>•</td><td></td></tr> </table>		F _c N/mm ²	西 工 業 所	• 180		※ 210 スランプ	基礎 18	• スランプ	床版 15	•		(表 1-2)
F _c N/mm ²	西 工 業 所											
• 180												
※ 210 スランプ	基礎 18											
• スランプ	床版 15											
•												
無筋コンクリート		(6.9.3) (6.9.4)										
適用箇所は 6.9.4 による他は、下記による。												
通 用 管 所												
捨コンクリート												
所要空気量 ※ 4.5% / vt 所要スランプ 15cm												
※ 4.5% / vt												
※ 普通ボルトランドセメント又は混合セメントの A 種		(6.2.1)										
但し普通ボルトランドセメントにおいては、JSR5210C による他、下記による。												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>規 定</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水 和 熟 7 日</td><td>84 cal/g 以下</td></tr> <tr> <td>28 日</td><td>96 cal/g 以下</td></tr> <tr> <td>全 ア ル カ リ</td><td>0.75 % 以下</td></tr> <tr> <td>塩 化 物 イ オ ン</td><td>0.02 % 以下</td></tr> </tbody> </table>		項 目	規 定	水 和 熟 7 日	84 cal/g 以下	28 日	96 cal/g 以下	全 ア ル カ リ	0.75 % 以下	塩 化 物 イ オ ン	0.02 % 以下	
項 目	規 定											
水 和 熟 7 日	84 cal/g 以下											
28 日	96 cal/g 以下											
全 ア ル カ リ	0.75 % 以下											
塩 化 物 イ オ ン	0.02 % 以下											
全アルカリの算出は、JSR5210ボルトランドセメント(低アルカリ形)による。												
粗骨材の塩分含有量(NaCl換算) ※ 0.04% / wt 以下		(6.2.2)										
混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形の 1 種		(6.2.4)										
(6.7.2) (表 6.7.1)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>通 用 管 所</th><th>実測単位容積質量(t/m³/m³)</th></tr> </thead> </table>		種 別	通 用 管 所	実測単位容積質量(t/m ³ /m ³)								
種 別	通 用 管 所	実測単位容積質量(t/m ³ /m ³)										
所要空気量 ※ 5.0% / vt												
適用期間 11月11日～3月20日		(表 6.13.1)										
(表 6.13.1)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>西 工 業 所</th></tr> </thead> </table>		種 別	西 工 業 所									
種 別	西 工 業 所											
※ A 種												
• B 種												
せき板の種類		(6.14.1)										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>合板型枠</th><th>金属型枠</th><th>樹脂系型枠</th><th>打込み型枠</th><th>ブロック型枠</th></tr> <tr> <th>• ラス型枠</th><th>•</th><th>•</th><th>•</th><th>•</th></tr> </thead> </table>		合板型枠	金属型枠	樹脂系型枠	打込み型枠	ブロック型枠	• ラス型枠	•	•	•	•	
合板型枠	金属型枠	樹脂系型枠	打込み型枠	ブロック型枠								
• ラス型枠	•	•	•	•								
合板せき板の形状 ※ 既 • 有												
合板せき板の材質 ※ 高弾性材 • 針葉材												
• 床型枠用鋼製ティッキプレート												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>板 厚(mm)</th><th>通 用 管 所</th></tr> </thead> </table>		板 厚(mm)	通 用 管 所									
板 厚(mm)	通 用 管 所											
(6.14.3) (表 6.14.1)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>西 工 業 所</th></tr> </thead> </table>		種 別	西 工 業 所									
種 別	西 工 業 所											
• A 種												
※ B 種 外 壁												
• C 種 コーン使用												
• C 種												
11. 打放し仕上げ												
(6.14.3) (表 6.14.1)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>西 工 業 所</th></tr> </thead> </table>		種 別	西 工 業 所									
種 別	西 工 業 所											
• A 種												
※ B 種 外 壁												
• C 種 コーン使用												
• C 種												
③ コンクリート耐久性向上対策												
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び、コンクリートブロック造等の鉄筋により補強されたコンクリート構造物に適用する。												
I. コンクリート中の塩化物量												
1) 塩化物量(CL-重量)、(kg/m ³) の範囲値は下記のとおりとする。												
※ 0.3以下												
• 0.3を超えるものとする。												
2) 測定器は、財團法人国土開発技術研究センターの技術評議会を受けたものとする。												
3) 試料は、現場に搬入されたフレッシュコンクリートから採取するものとする。ただし、プレキャストコンクリート等工場で製作されるものは、品質管理データを提出し、現場搬入時に監督員の承認を受けるものとする。												
4) 試料は、下記により採取するものとし試験箇所は同一試料における 3 回の測定の平均値とする。												
なお、最初の試験は、打込み当初行うものとする。												
※ 150mf ごと又は、その端数につき 1 回以上とする。												
• 50mf ごと又は、その端数につき 1 回以上とする。												
5) 塩化物量の試験は、コンクリートの種類及び、生産工場別に行うものとする。												
6) 測定記録は、別表に記載の上、監督員に提出するものとする。												
7) 測定した結果、不合格となった場合は、次の連繋率から各連繋率ごとに試験を行い、規制値以下であることを確認した後、使用するものとする。ただし、この場合、連続して 10 回の連繋率の試験が規制値以下であることが確認できれば、その後は、4) による。												
II. アルカリ骨材反応対策												
1) 骨材は、アルカリ骨材反応性試験(JIS A 3008の化学法、又はモルタル法)により安全と認められた骨材を使用する。ただし、安全と認められないものを使用する場合は、コンクリート中のアルカリ遊離度が R ₁ の換算度 3.0kg/m ³ 以下のコンクリートを使用する。この場合、事前に計算書を提出し、監督員の承認を得るものとする。												
2) 1) のアルカリ骨材反応性試験は、つぎに掲げる基準試験で行うものとし、試験成績書を監督員に提出して承認を得るものとする。												
イ. 青森コンクリート協同組合技術研修センター		ヘ. 青森県工業試験場										
ロ. 秋田県生コンクリート工業組合技術研修センター		ト. 関東県建設技術センター										
ハ. 岩手県生コンクリート工業組合共同試験場		チ. 弘前大学										
ニ. 宮城県生コンクリート中央技術センター		リ. 八戸工業大学										
ホ. 庄内生コンクリート共同組合技術セミナー												

鉄骨工事	1. 鉄骨製作工場	<ul style="list-style-type: none"> 監査員の承認する製作工場(※點内工場・屋外工場) 「施工業者条件判定要領(判定基準)」に適合する製作工場又は建設省告示第110号に基づき検査大臣が認定した製作工場のうち下記の条件を満足する製作工場(※點内工場・屋外工場) 適用する • 通用しない <p>(7.1.2) (7.1.4) (7.2.1)</p>																													
	2. 施工管理技術者																														
	3. 施工の種類																														
	4. 高力ボルト																														
	5. 対応完了後の検査																														
	6. さび止め塗料																														
	7. 耐火被覆																														
	8. アンカーボルトの保持及び埋込方法																														
	9. 柱圧均しモルタル																														
	10. 塗装止めっき																														
木工事	1. 強強コンクリートブロック造	<ul style="list-style-type: none"> ブロックの種類 A種 • B種 • C種 																													
	2. コンクリートブロック構型及び規格	<ul style="list-style-type: none"> ブロックの種類 A種 • B種 • C種 																													
	3.																														
	4. ハスフルト防水																														
	5. シーリング用材料																														
	6. 施工機、機																														
	7. 施工箇所																														
	8. 施工機、機																														
	9. 施工箇所																														
	10. 施工箇所																														
防水工事	1. アスファルト防水	<p>(9.1.2)(表9.1.2)(表9.1.6)</p> <table border="1"> <tr><td>種 別</td><td>施 工 箇 所</td></tr> <tr><td>※ A-1-1</td><td></td></tr> <tr><td>• A-1-2</td><td></td></tr> <tr><td>• E-1</td><td></td></tr> <tr><td>• E-2</td><td></td></tr> <tr><td>•</td><td></td></tr> </table> <p>(9.1.3)</p>										種 別	施 工 箇 所	※ A-1-1		• A-1-2		• E-1		• E-2		•									
種 別	施 工 箇 所																														
※ A-1-1																															
• A-1-2																															
• E-1																															
• E-2																															
•																															
2. 特殊調査日地	<p>アスファルトの種類</p> <p>※ A-1-2</p> <p>特殊材 厚さ(mm)</p> <p>※ 40</p> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>																														
3. 合成高分子ルーフィング防水	<p>合成高分子ルーフィング工芸会制定シート防水マニュアル(平成元年版)による。</p> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>																														
4. 地盤防水	<p>工芸番号は、合成高分子ルーフィング工芸会制定シート防水マニュアル(平成元年版)による。</p> <p>(9.3.2)(表9.3.1)(表9.3.2)</p> <table border="1"> <tr><td>地 潟</td><td>施 工 箇 所</td><td>仕 上 施 料(露出)</td></tr> <tr><td>X-</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Y-</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>Z-</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>										地 潟	施 工 箇 所	仕 上 施 料(露出)	X-			Y-			Z-											
地 潟	施 工 箇 所	仕 上 施 料(露出)																													
X-																															
Y-																															
Z-																															
5. シーリング用材料	<p>シーリング用材料</p> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>																														
6. 施工機、機	<p>シーリング用機器</p> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>																														
7. 施工箇所	<p>シーリング用機器</p> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>																														
8. 施工機、機	<p>シーリング用機器</p> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>																														
9. 施工箇所	<p>シーリング用機器</p> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>																														
10. 施工箇所	<p>シーリング用機器</p> <p>※ A-1-2</p> <p>※ E-1</p> <p>※ E-2</p> <p>※</p>																														
石工事	① 花こう岩類の石張り	<p>石の品質</p> <p>※ 1等品</p> <p>2等品</p> <p>3等品</p> <p>石仕上げなどの種類</p> <p>石磨き仕上げの種類</p> <p>粗面き • 本磨き • 水磨き</p> <p>本磨き</p> <p>3等品</p> <p>(10.2.2)(表10.2.1)</p>																													
	2. 大理石張り	<p>石の品質</p> <p>※ 1等品</p> <p>2等品</p> <p>3等品</p> <p>石の種類</p> <p>花こう岩類</p> <p>大理石</p> <p>花こう岩類</p> <p>大理石</p> <p>(10.3.2)</p>																													
	3. テラゾブロック張り	<p>石の品質</p> <p>※ 1等品</p> <p>2等品</p> <p>3等品</p> <p>石磨き仕上げなどの種類</p> <p>粗面き • 本磨き • 水磨き</p> <p>本磨き</p> <p>3等品</p> <p>(10.4.2)</p>																													
	4. 豊石及び磨合石	<p>石の品質</p> <p>※ 1等品</p> <p>2等品</p> <p>3等品</p> <p>石の種類</p> <p>花こう岩類</p> <p>豊石</p> <p>花こう岩類</p> <p>豊石</p> <p>(10.5.2)</p>																													
	5. テラゾタイル張り	<p>石の品質</p> <p>※ 1等品</p> <p>2等品</p> <p>3等品</p> <p>石磨き仕上げの種類</p> <p>粗面き • 本磨き</p> <p>本磨き</p> <p>3等品</p> <p>(10.6.1)</p>																													
	6. 施工機、機																														
	7. 施工機、機																														
	8. 施工機、機																														
	9. 施工機、機																														
	10. 施工機、機																														
タイル工事	① 陶磁器質タイル張り及び型枠先付け	<p>タイルの種類及び工法</p> <p>(11.1.1)(11.2.1)(11.2.2)(11.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箱 所</th> <th>形狀寸寸(mm)</th> <th>ま じ うわぐすり</th> <th>物 品 色</th> <th>工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ボーチホール難</td><td>150</td><td>◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎</td><td>白 磁</td><td>セメント付</td></tr> <tr><td>トイレ床</td><td>100</td><td>◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎</td><td>白 磁</td><td>セメント付</td></tr> <tr><td>トイレ壁</td><td>100</td><td>◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎</td><td>白 磁</td><td>セメント付</td></tr> </tbody> </table> <p>(11.1.1)</p>										施 工 箱 所	形狀寸寸(mm)	ま じ うわぐすり	物 品 色	工 法	ボーチホール難	150	◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	白 磁	セメント付	トイレ床	100	◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	白 磁	セメント付	トイレ壁	100	◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	白 磁	セメント付
施 工 箱 所	形狀寸寸(mm)	ま じ うわぐすり	物 品 色	工 法																											
ボーチホール難	150	◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	白 磁	セメント付																											
トイレ床	100	◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	白 磁	セメント付																											
トイレ壁	100	◎ * * ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	白 磁	セメント付																											
2. 壁タイル張りの工法	<p>内装タイルの接着工法</p> <p>※ 壁上げ張り</p> <p>接着剤張り</p> <p>接着剤種別 JSA 5548 ※ タイプⅢ</p> <p>外装タイルの接着工法</p> <p>※ 密着張り</p> <p>密着張り</p> <p>ユニットタイルの接着工法</p> <p>※ マスク張り</p> <p>モザイク張り</p> <p>外装タイルの型枠先付け工法</p> <p>※ タイルシート法</p> <p>タイルシート法</p> <p>(11.2.2)(11.2.3)(表11.2.1)</p>																														
3. 陶磁器質タイル型枠先付けの種別																															
4. 木工	<p>木の合木板</p> <p>※ A種</p> <p>B種</p> <p>C種</p> <p>木工箇所</p> <p>所要性能</p> <p>30分耐火</p> <p>1時間耐火</p> <p>30分耐火</p> <p>1時間耐火</p> <p>(7.1.1)</p>																														
5. 木工	<p>木の合木板</p> <p>※ A種</p> <p>B種</p> <p>C種</p> <p>木工箇所</p> <p>所要性能</p> <p>30分耐火</p> <p>1時間耐火</p> <p>30分耐火</p> <p>1時間耐火</p> <p>(7.1.1)</p>																														
6. 木工	<p>木の合木板</p> <p>※ A種</p> <p>B種</p> <p>C種</p> <p>木工箇所</p> <p>所要性能</p> <p>30</p>																														

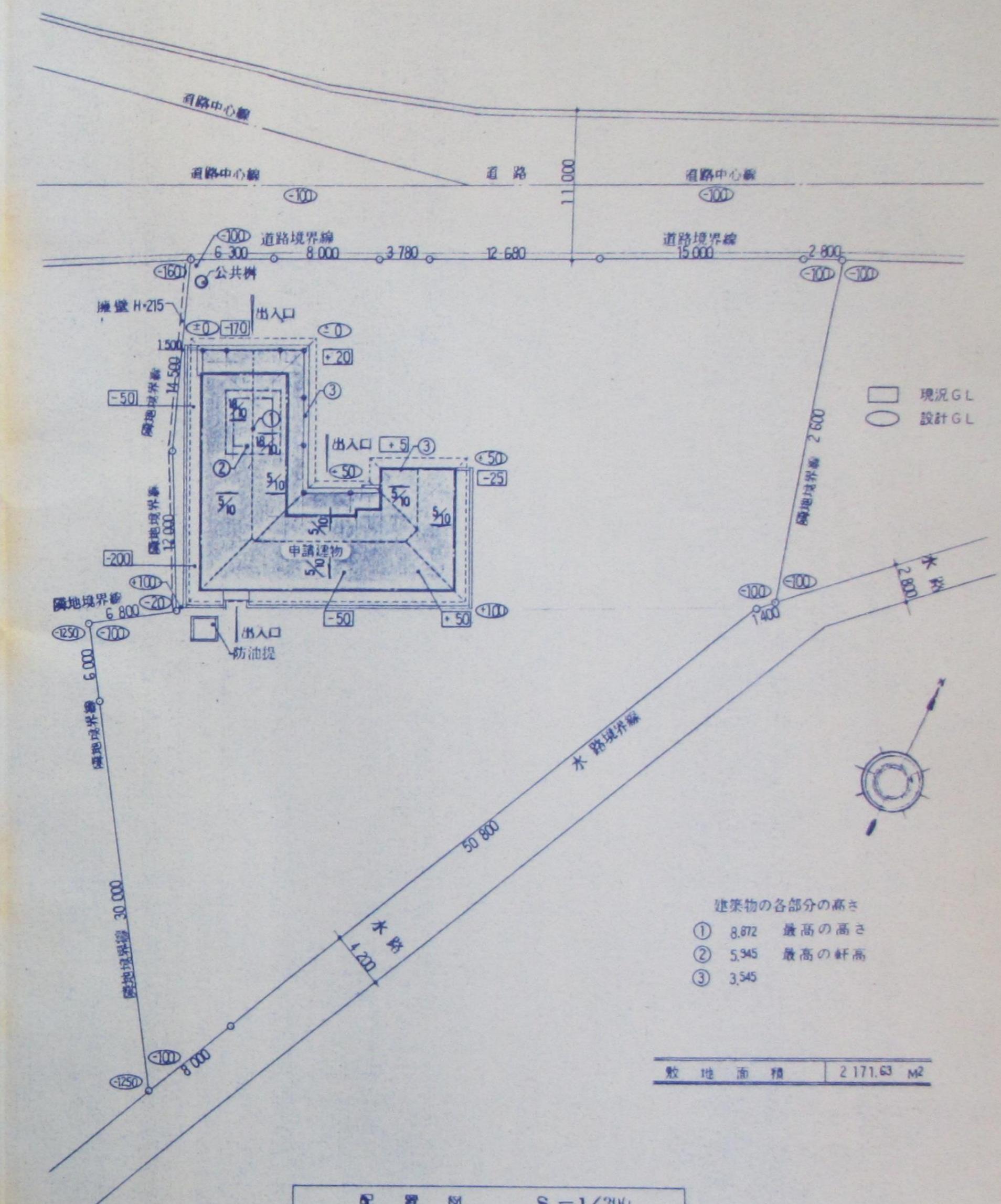
訂正	用	日

承認
坦

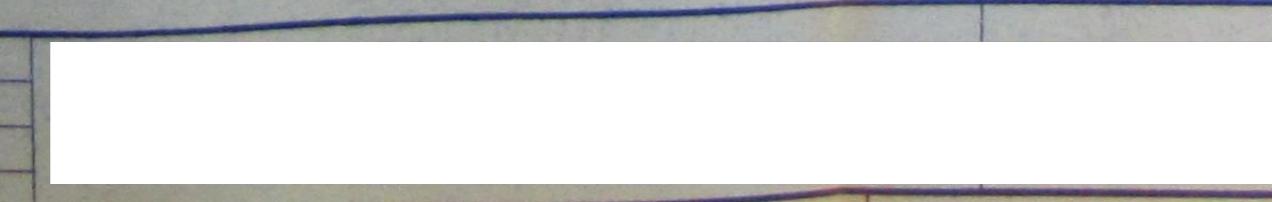
当 製 図	設計年月日 ・・	工事名称 観光PRセンター新築工事設計図	図面番号
	縮尺	図面名称 特記仕様書 № 3	A - 4



案内図



訂正	月 日
-	-
-	-
-	-



承認担当 製図	設計年月日	工事名称	圖面番号
			規尺
		観光PRセンター新築工事設計図	A - 5
	S = 1/300	案内図 配置図	

外部仕上表

基礎	モルタル刷毛引き 天端モルタル均し	床下換気口120×300 プラスチック製開閉ツバ付	軒天	φ5有孔スラグ石膏板VP	断熱材	床:押出法ポリスチレンフォーム3種を40 壁、天井:100グラスワール16kg
	土台水切 アルミ押出し成形通気水切	ボーチ	磁器質床150角タイル、段差タイル			トイレ壁:100グラスワール16kg
外壁	φ4ラウン合板下地1枚の12ヒバ板木骨保護着色塗料3回塗(相じゃくい) フィラー処理後仕上塗材RE(φ4.0ラウン合板下地)		天井: φ5スラグ石膏板VP 敷目地		その他	看板名称 観光PRセンターステンレスボックス文字200×200
	通気シート下地 φ12膨胀混入りテントけい耐カルシウム板	大走り	玉砂利敷込み100、歩道境界ブロック150/170×200×600			ステンレス製ヘアライン仕上
屋根	φ9野地板 アスファルトルーフィング23kg φQ4フッ素樹脂塗装鋼板H号複合(硬風、棟包具)	サッシ 雪止	アルミ製ブラック(住宅用)アミ戸付			展示収納室外出入口床仕上:コンクリート金ゴテ仕上
	シーリング	達具縫り C種10×7				

内部仕上表

室名	床		中木		扉		壁		天井		天井高	備考	天井点検口	室名
	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上				
観光展示室	M	半硬質コンポジションビニール 3×304×304 床タイル	RC	木製 9×720SCL	W	φ9ラウン合板OSCL	W	φ125石コウボード下地 ビニールクロス貼(2級品)	W	φ9.5化粧石膏ボード	6,600~ 2,800		○ ○	
展示収納室	M	エボキシ樹脂塗床防滑仕上	RC	木製 9×750P			W	φ12.5防水石膏ボードEP	W	φ9.5防水石膏ボード 敷目地 EP900×900	2,500		○ ○	
湯沸室	M	エボキシ樹脂塗床防滑仕上	RC	木製 9×750P			W	φ12.5防水石膏ボードEP 一部100角子供監護タイル	W	同 上	2,500	吊戸棚L=1200 延長L=500 洗面台L=1200 ガス台L=500 給排水口:アルミ製丸形カラーリア5*	○ ○	
掃除具入1	M	エボキシ樹脂塗床防滑仕上	W	木製 9×750P			W	φ12.5防水石膏ボードEP	W	φ9.5化粧石膏ボード	2,300	ABS製レジスター		
ホール	M	150角床磁器質タイル	RC	木製 9×750P			W	φ12膨胀混入りドリル150角カルシウム板 φ12.5耐水石膏ボードRE 100角磁器質タイル	W	φ9.5石膏ボード下地 φ12ロックワール吸音板	2,625			
身障者用トイレ	M	100角床磁器質タイル					W	φ9.5防水石膏ボード 敷目地 EP900×900	W	同 上	2,400	身障者手摺一式傾斜鏡(設備工事)	○	E
男子トイレ	M	100角床磁器質タイル					W	同 上	W	同 上	2,300	カガミ H=900 蓋木:反動石 手洗 フープライトカウンター	○	E
女子トイレ	M	100角床磁器質タイル					W	同 上	W	同 上	2,300	カガミ H=900 手洗 マーノライトカウンター	○	E
廊下	RC W	150角床磁器質タイル φ12床用化粧フロア	W	150角磁器質タイル 木製 9×750SCL			W	φ125石コウボード下地 ビニールクロス貼(2級品)	W	φ9.5化粧石膏ボード	2,500	下駄箱造付		
掃除具入2	W	φ12床用化粧フロア	W	難巾摺			W	同 上	W	同 上	2,300			
王将太鼓練習室	W	φ9構造合板下地 φ12床用化粧フロア	W	木製 9×750SCL	W	φ9ラウン合板OSCL	W	同 上	W	同 上	2,500			○
太鼓収納室	W	φ9構造合板下地 φ12床用化粧フロア	W	木製 9×750SCL			W	同 上	W	同 上	2,300	アルミ製床下点検口450×450	○	○
更衣室	W	φ12床用化粧フロア	W	木製 9×750SCL			W	同 上	W	同 上	2,300			○

凡例

- 1: RC 土間コンクリート下地
- 2: W 木組下地
- 3: M 均シモルタル下地
- 4: OP 合成樹脂譲合ペイント塗
- 5: VP 塩化ビニール樹脂エナメル塗
- 6: OS 油性スチーン塗
- 7: CL クリアラッカー塗
- 8: EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗

不燃、準不燃

- 1: φ95化粧石膏ボード 準不燃(個)第2016号
- 2: φ125石コウボード下地ビニールクロス 壁基材(通)第0003号
- 3: φ9.5防水石膏ボード 準不燃(個)第2018号
- 4: φ12ロックワール吸音板 不燃(個)第1021号

特記事項

- 1: 木材寸法見え隠れはひきたて寸法作成材は仕上がり寸法とする
- 2: 外部ラウン合板は1類、内部ラウン合板2類
- 3: 金物については公庫仕様による。
- 4: 高さH=1000まで、防腐剤ヌリ(GLヨリ)
- 5: アルミ製床下天井点検口450×450
- 6: 床下φ0.15ポリエチレンフィルム敷
- 7: 外壁下地は通気工法とする。
- 8: 壁名札ピクトグラフ150×150を便所のみとする。(他はアクリル製シルク印刷板とする)
- 9: 木材は外部建Rヒバとする。
- 10: 木造の全物は公庫仕様による。
- 11: ビニールクロスのランクはA~Bとする

(注)

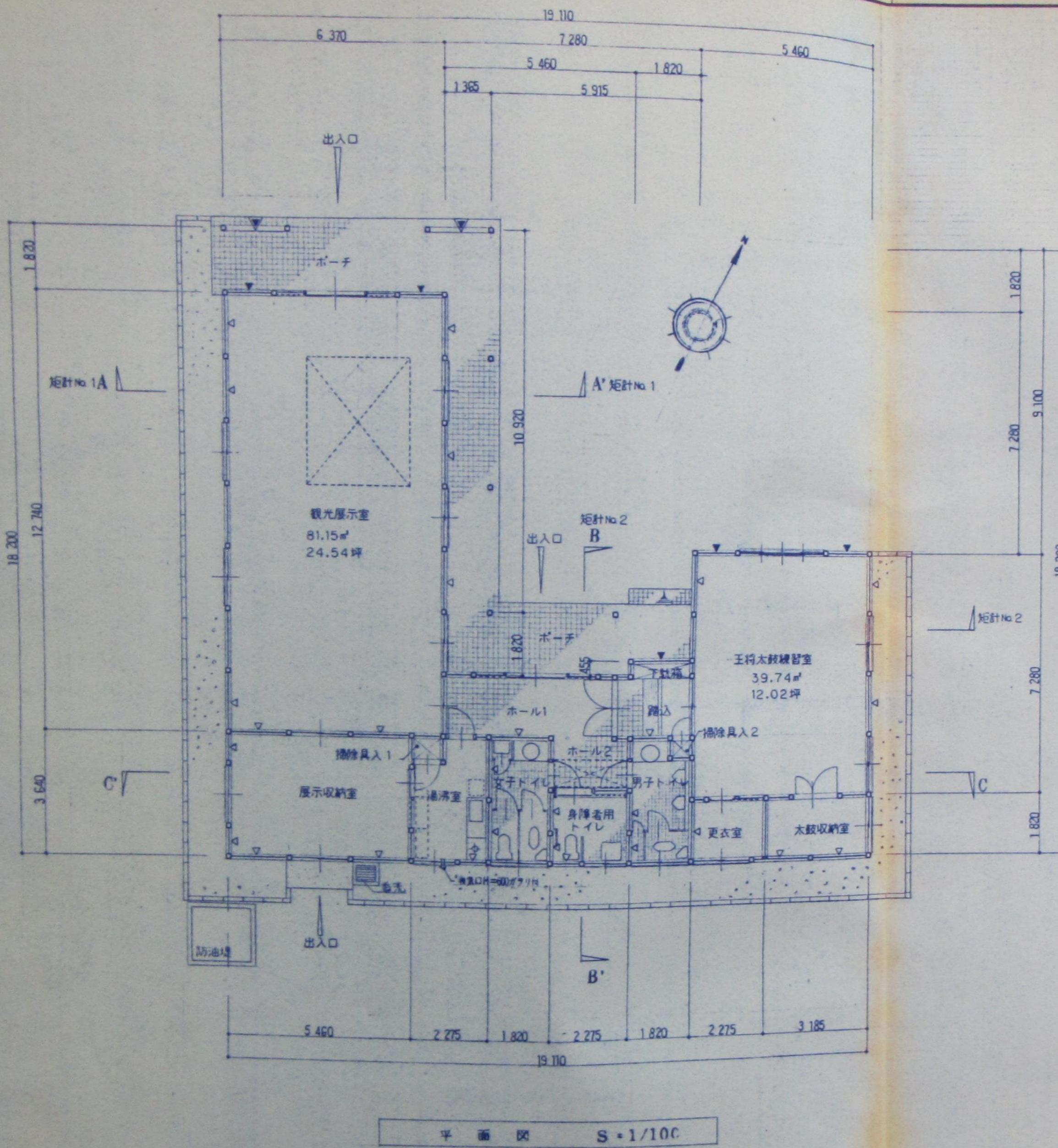
- 1: 木工事については、住宅金融公庫の木造住宅工事仕様書を準用する。

別表	表、目
・	・
・	・
・	・



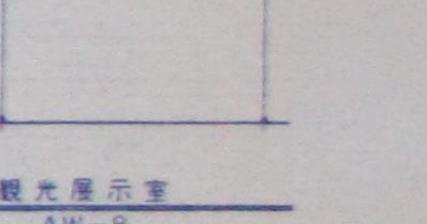
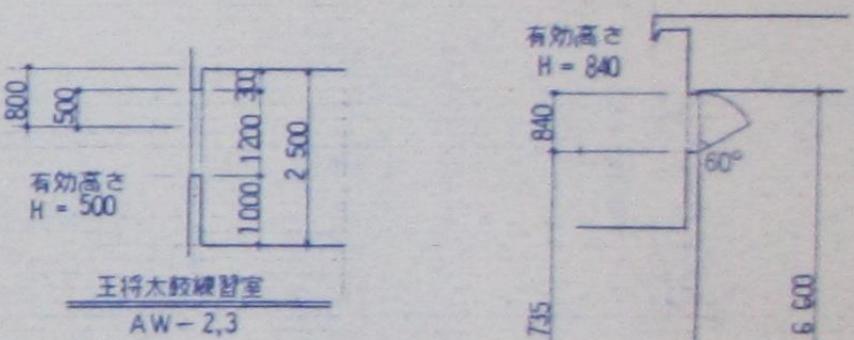
承認者	担当者	監査員	設計年月日	工事名称
				観光PRセンター新築工事設計図

回数
A - 6



令第126条の2第1項による令第116条の2第1項第二号の検討 (m²)			
室名	床面積	必要面積 X1/50	判定
観光展示室	81.15	1.62	0.72 x 0.84 x 4 = 2.41
王将太鼓練習室	39.74	0.79	1.3 x 0.5 + 0.85 x 0.5 x 2 = 1.5

換気計算 (m³)			
室名	床面積	必要面積 X1/20	判定
観光展示室	81.15	4.05	0.85 x 1.35 x 5 = 5.73
王将太鼓練習室	39.74	1.98	1.3 x 1.2 + 0.85 x 1.2 x 2 = 3.6



昭和47年建設省告示第32号により有効

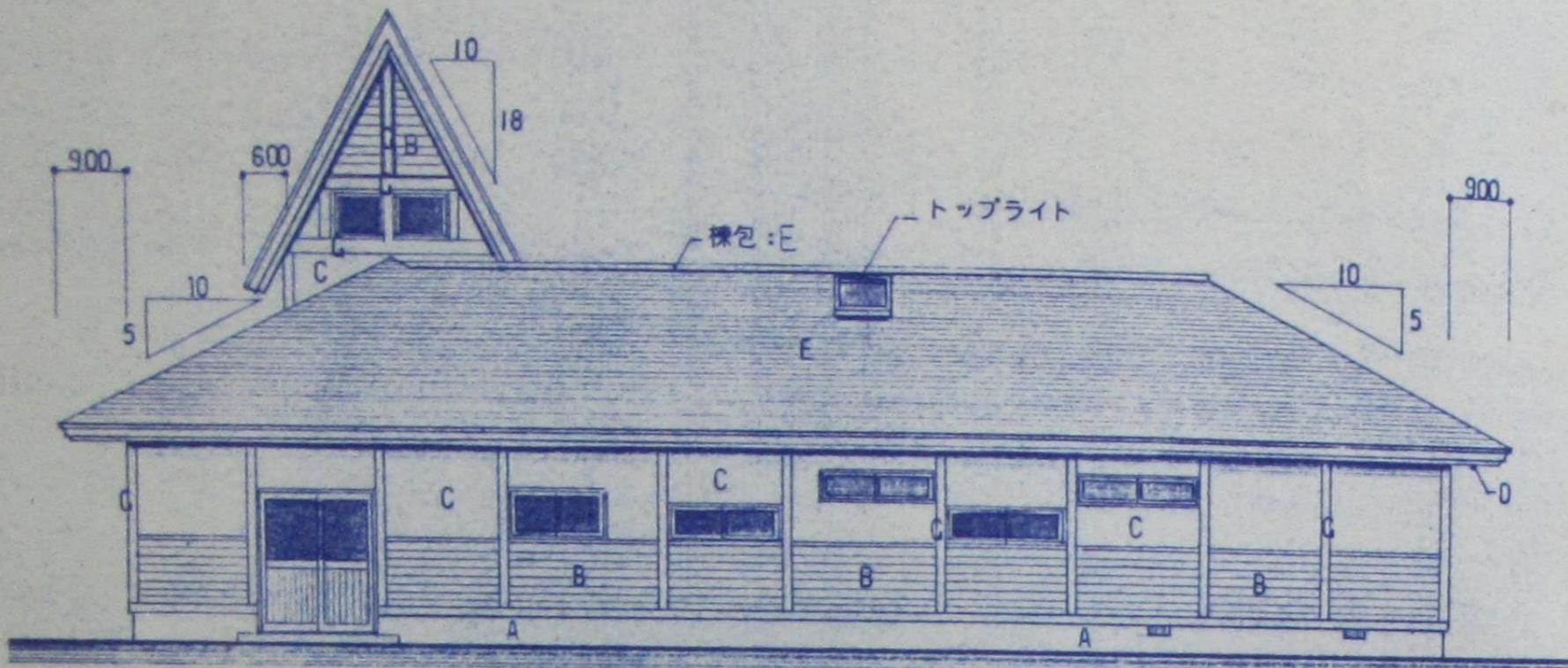
建物面積表		
建 製 面 積	233.52 (m²)	70.63 (坪)
1 階 床 面 積	194.60 (m²)	58.86 (坪)
延 床 面 積	194.60 (m²)	58.86 (坪)

凡 例		
▷	筋造イ 90×45	
▶	筋造イ 90×45 タスキ掛	
▶	筋造タスキイ 120 × 120 タスキ掛 (仕上材)	
[]	吹抜を示す	
柱の小径	120 x 120	

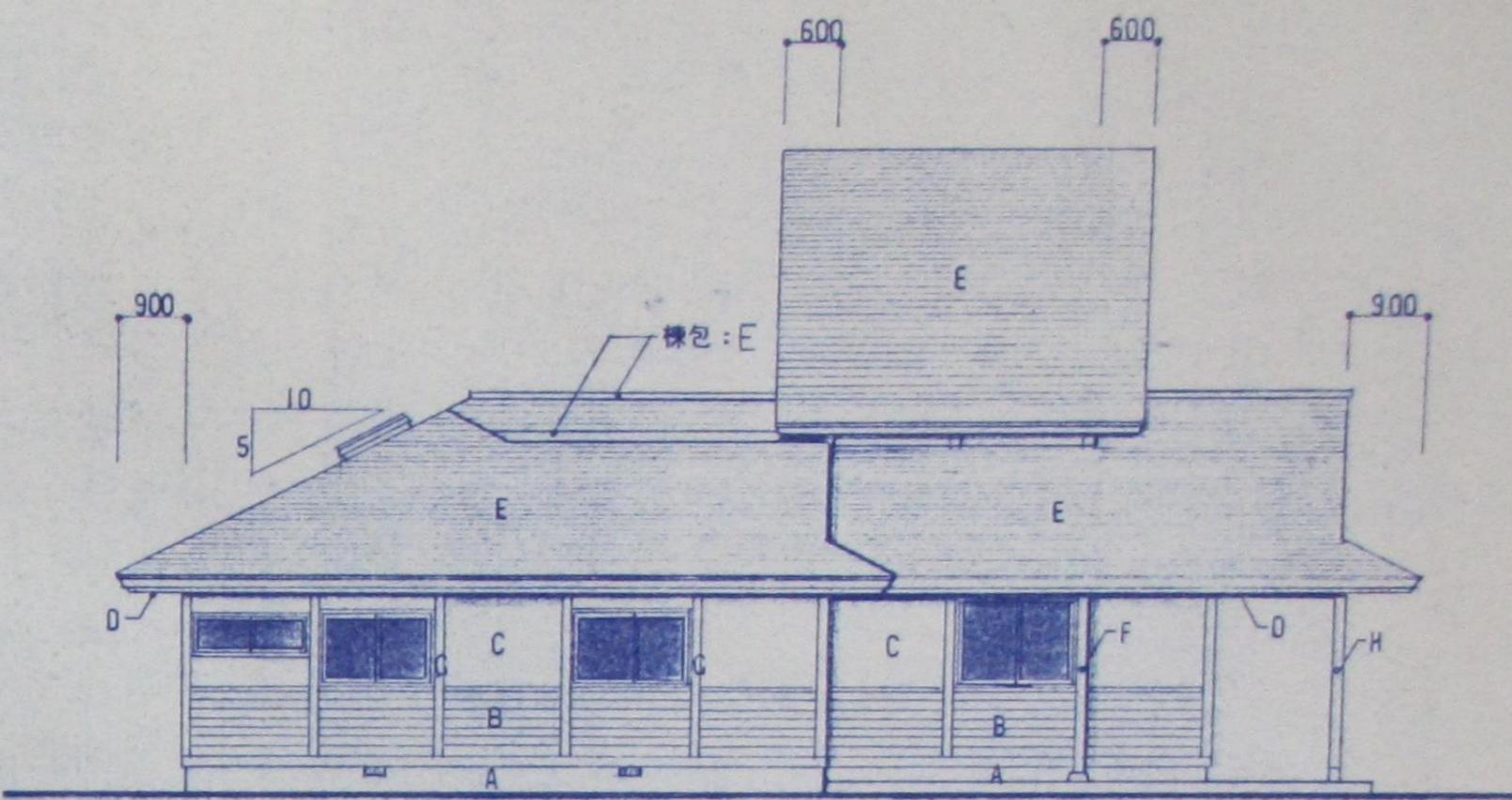
無窓階換算表 (m²)			
床面積	必 要 間 所 必 要 面 積	有 効 間 所 有 効 面 積	判 定
194.60	2.5所 $194.60 \times 1/30 = 6.48$	2.5所 $166 \times 2 \times 2 = 6.64$	OK

都正	規格

承認	担当	監理	設計年月日	工事名称
				観光PRセンター新築工事設計図
				図面名稱
				S=1/100
				平面図、降煙、換気、採光計算、無窓階換算表
				回面番号 A - 7

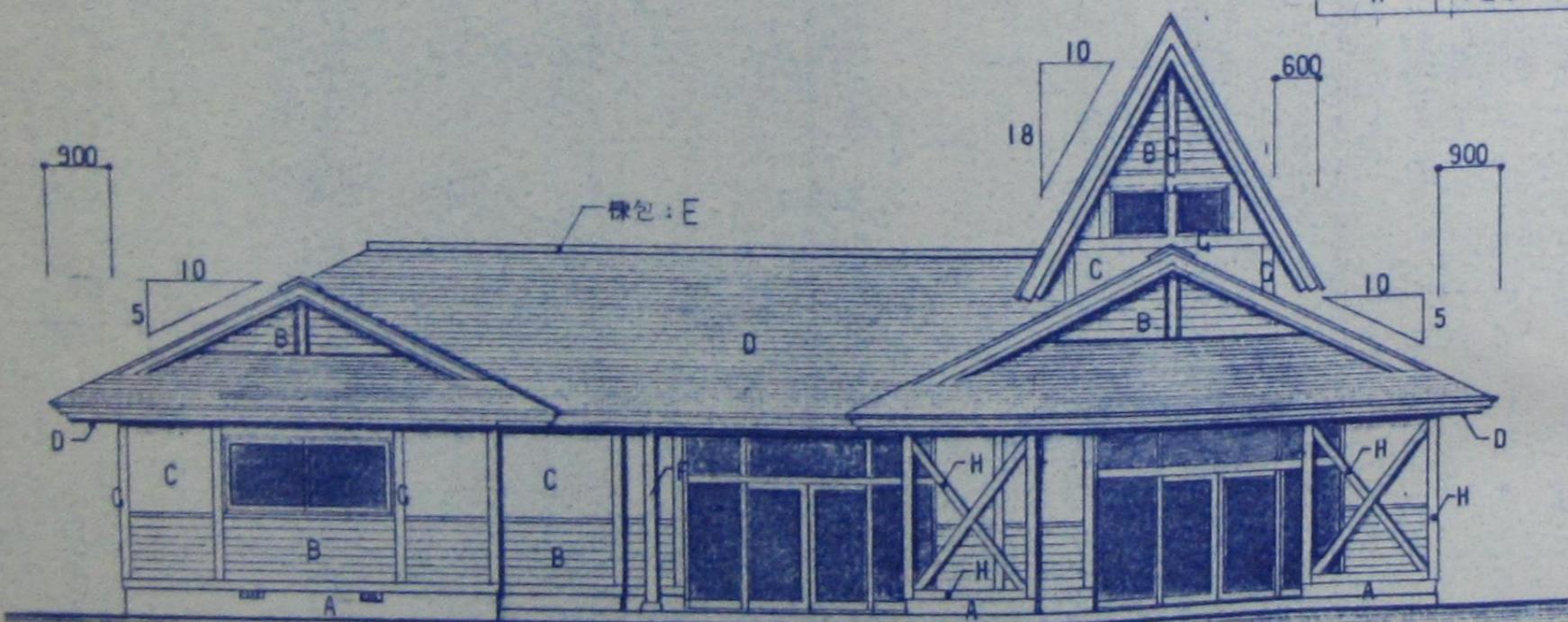


南立面図 S=1/100

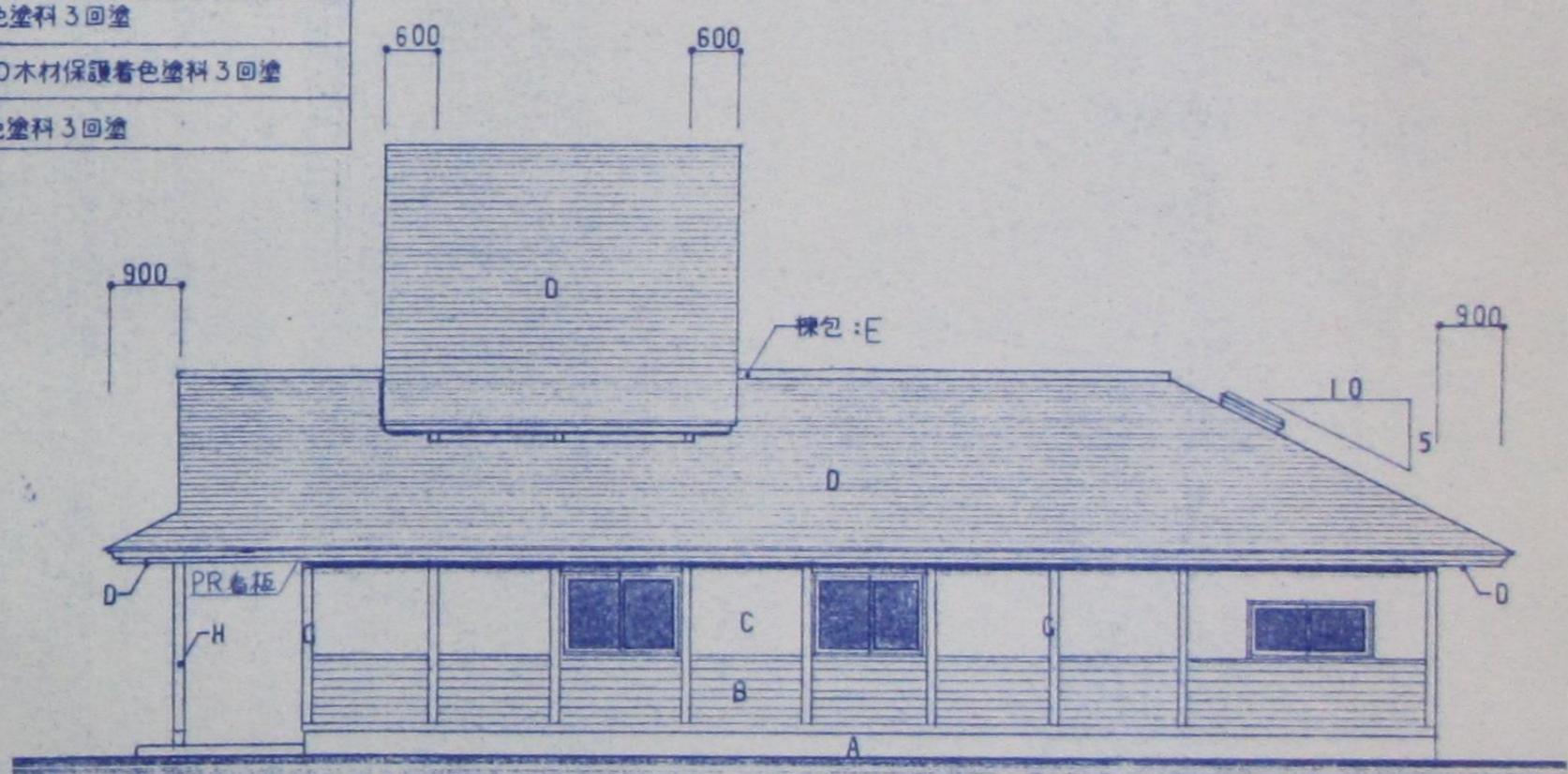


東立面図 S=1/100

凡 例	
A	モルタル刷毛引き
B	④12ヒバ板相じゅくり木材保護着色塗料3回塗
C	④12セメントケイカル板フィラー処理複層仕上塗材RE
D	④5有孔スラグ石膏板VP
E	④04フッ素樹脂塗装鋼板A号横葺
F	135×135ヒバ木材保護着色塗料3回塗
G	付柱・付梁・ヒバの120×30木材保護着色塗料3回塗
H	120×120ヒバ木材保護着色塗料3回塗



北立面図 S=1/100



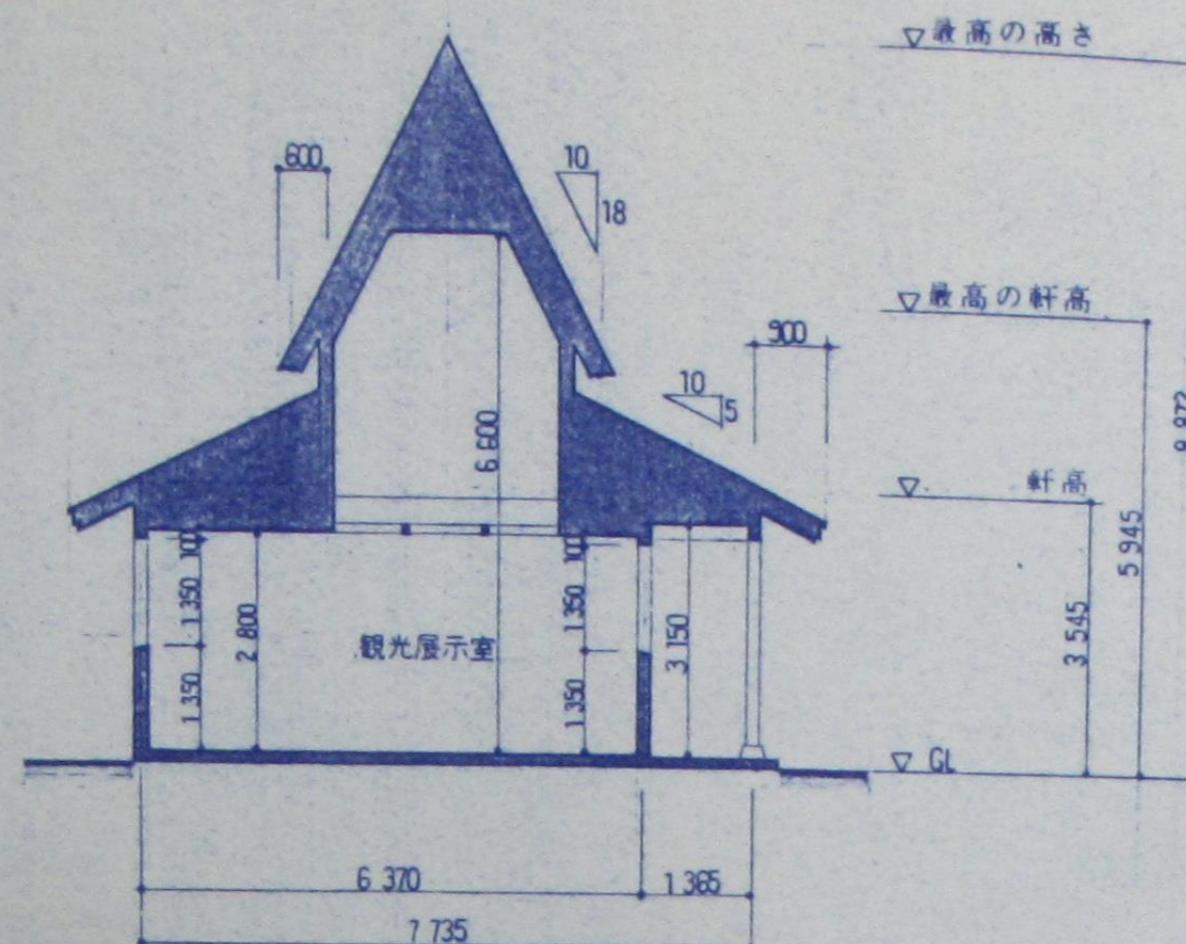
西立面図 S=1/100

監修	月 日
.	.
.	.
.	.

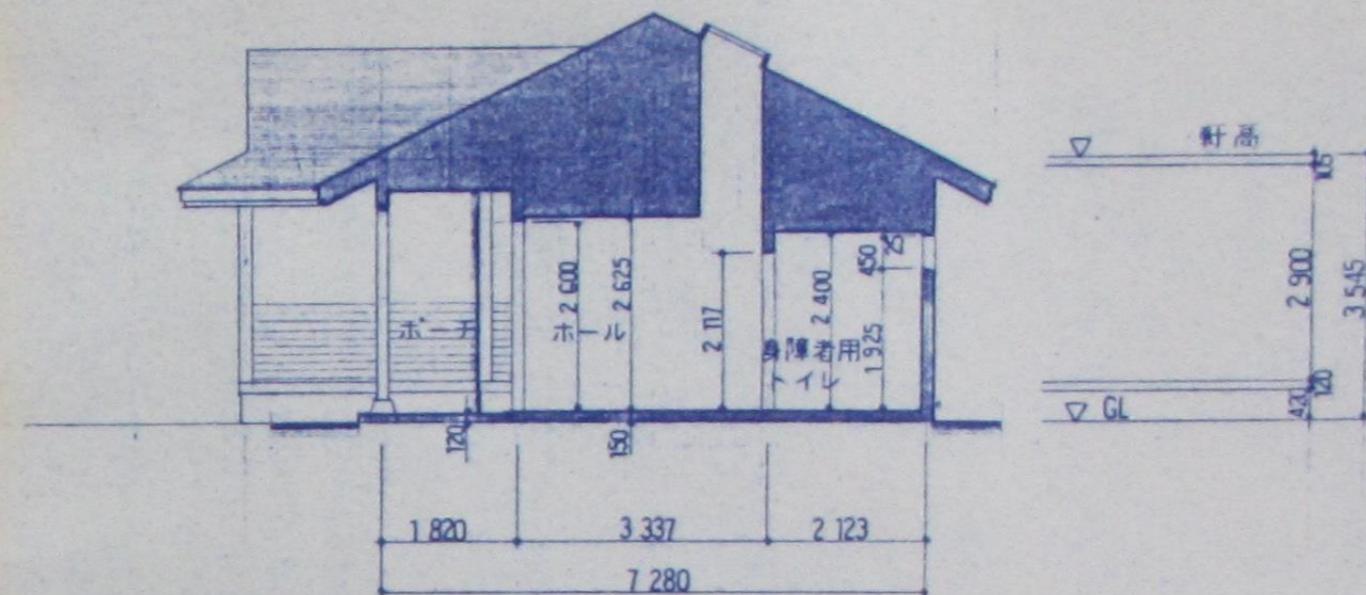
承認	担当	製圖
.	.	.

設計年月日	工事名称
.	観光PRセンター新築工事設計図
縮尺	図面名称
S=1/100	立面図

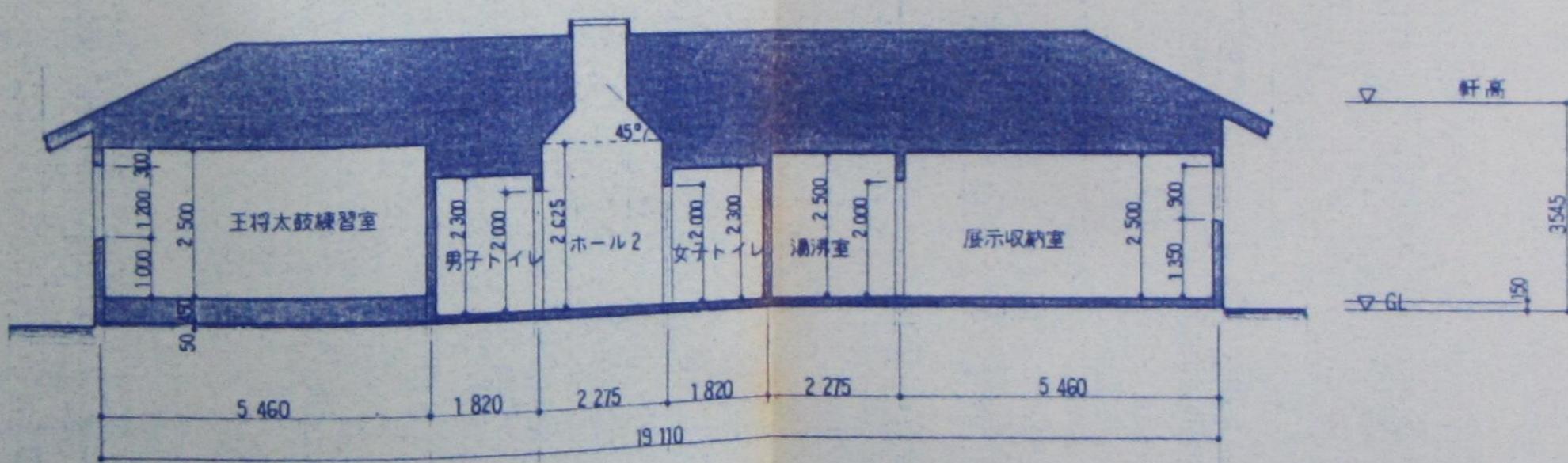
図面番号
A-8



A~A' 断面図 S=1/100



B~B' 断面図

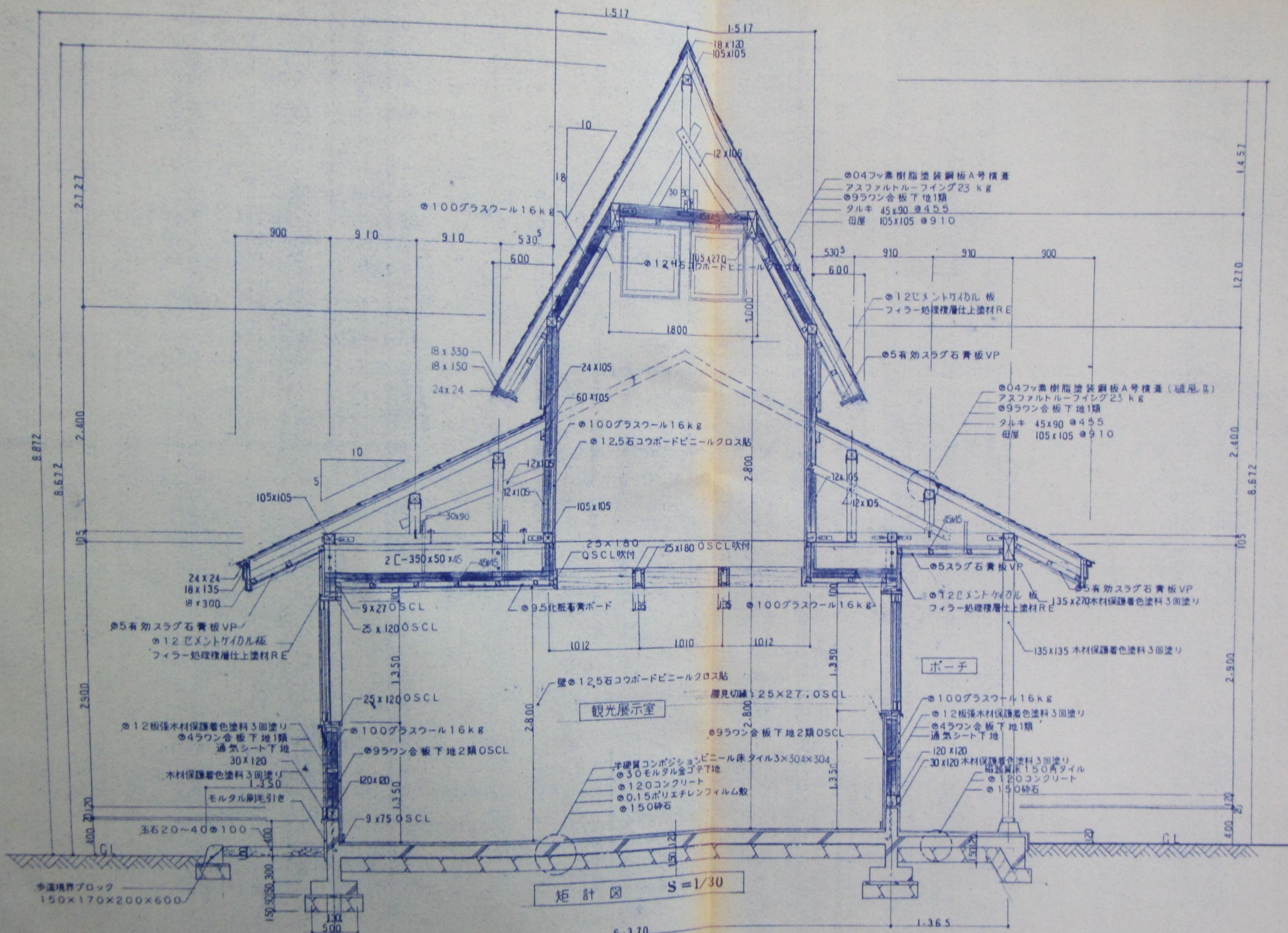


C-C' 断面図 S=1/100

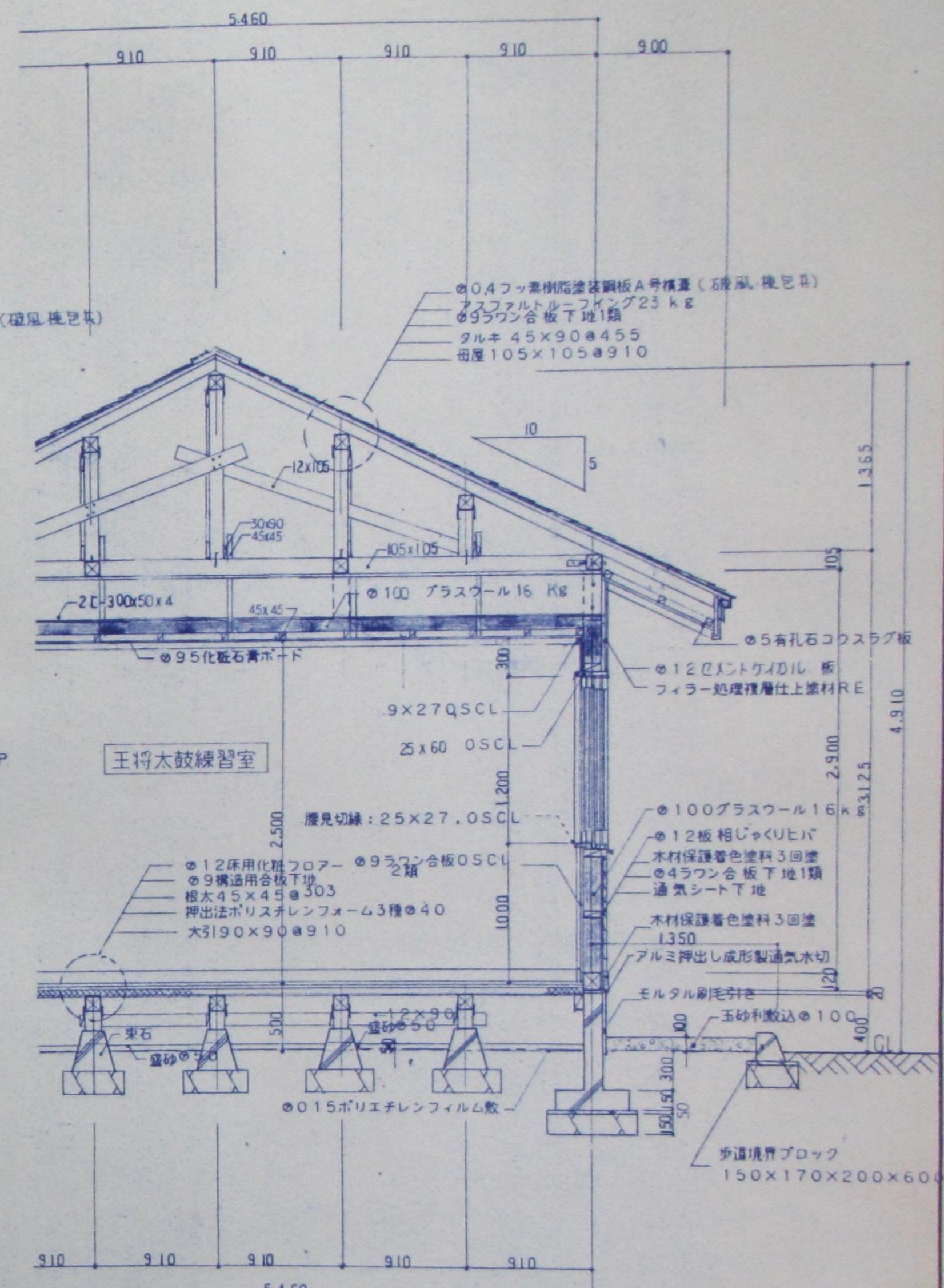
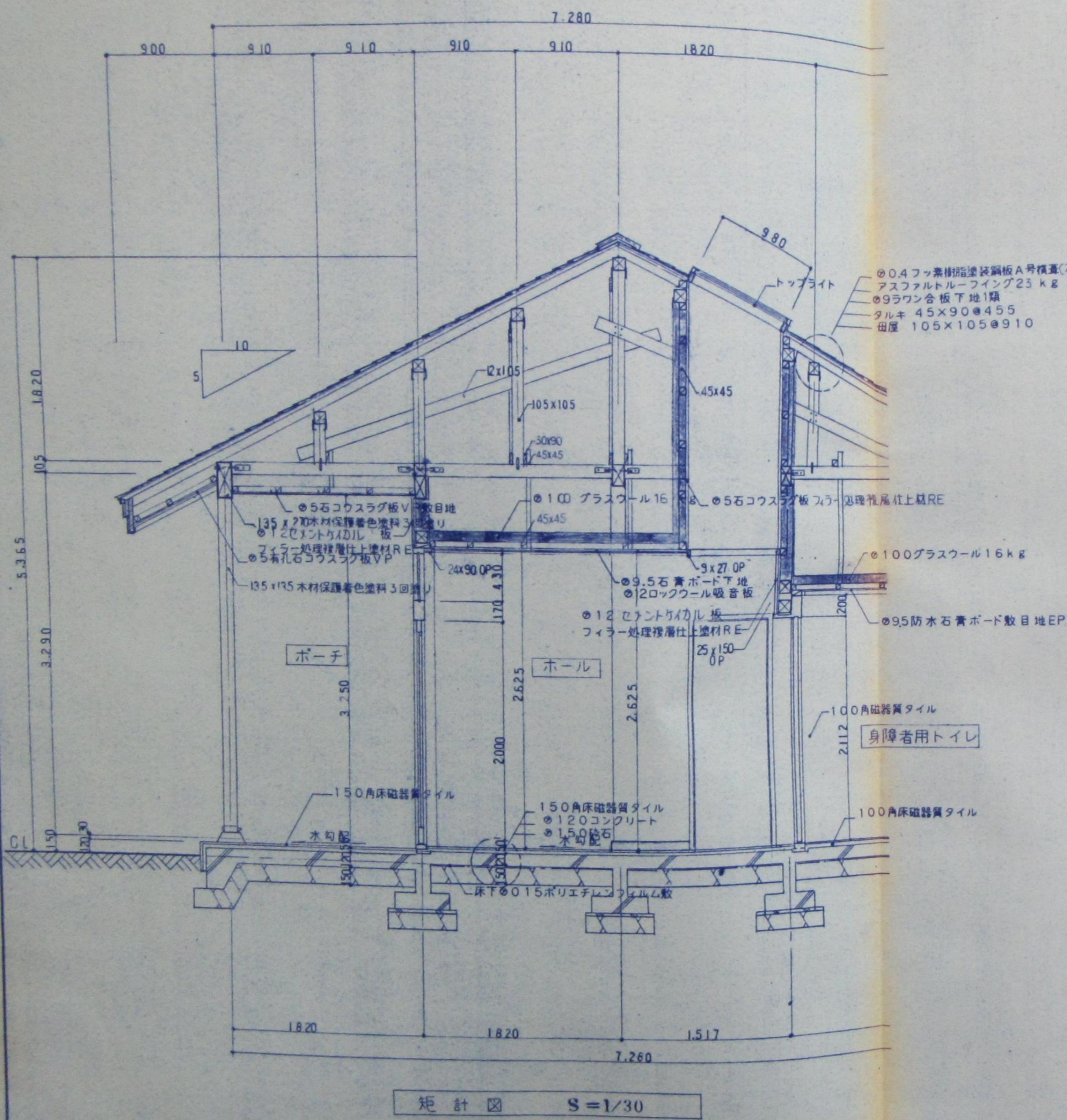
訂正	月 日

1000

承認	担当	製図	設計年月日	工事名称	圖面番号
				観光PRセンター新築工事設計図	
			縮尺 S・1/100	図面名称 断面図	A-9



承 諾 担 当	製 図	設計年月日 ・	工事名称 観光PRセンター新築工事設計図	圖面番号 A -
		縮尺 $S = 1/30$	圖面名称 矩計図 № 1	

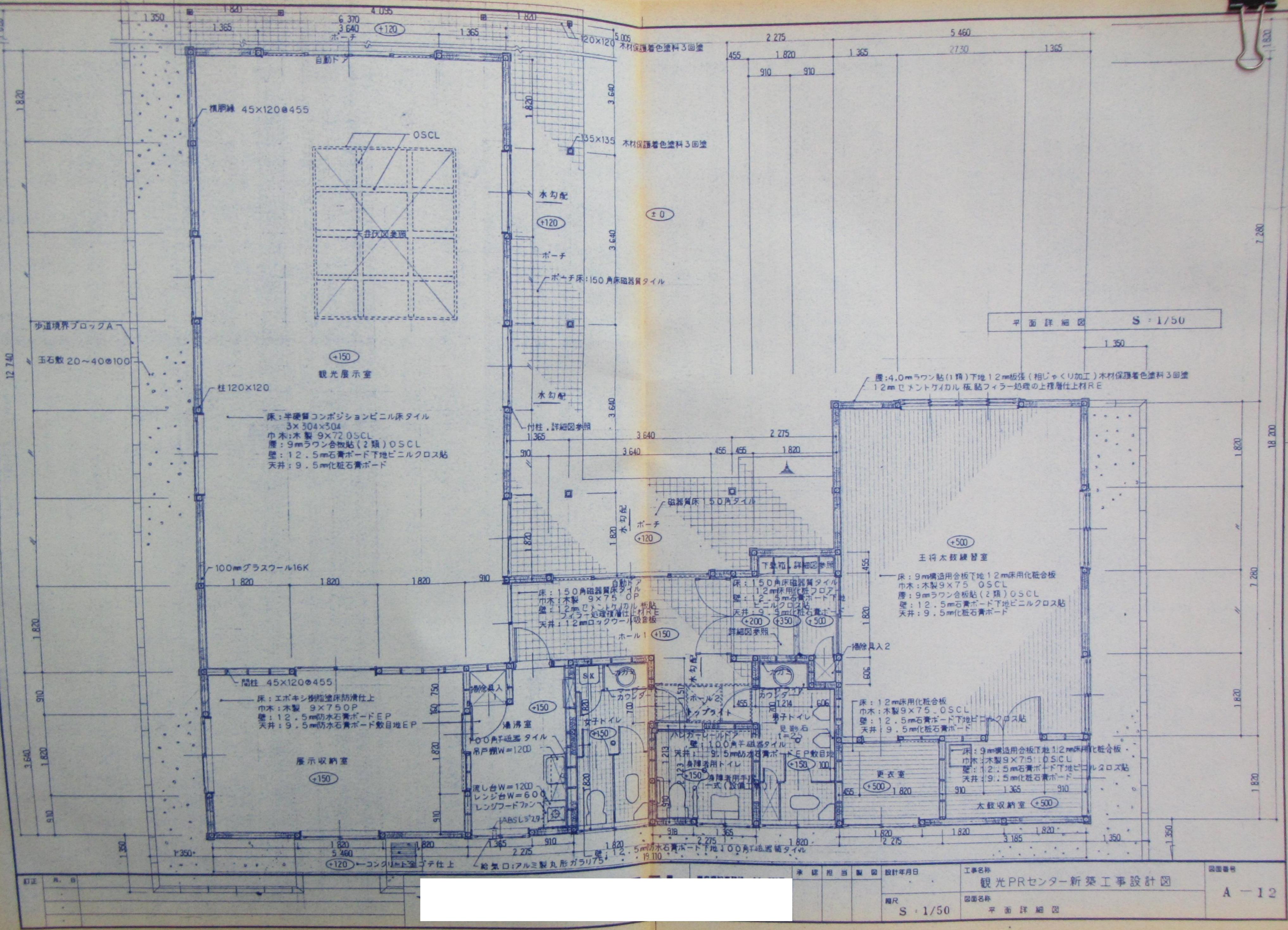


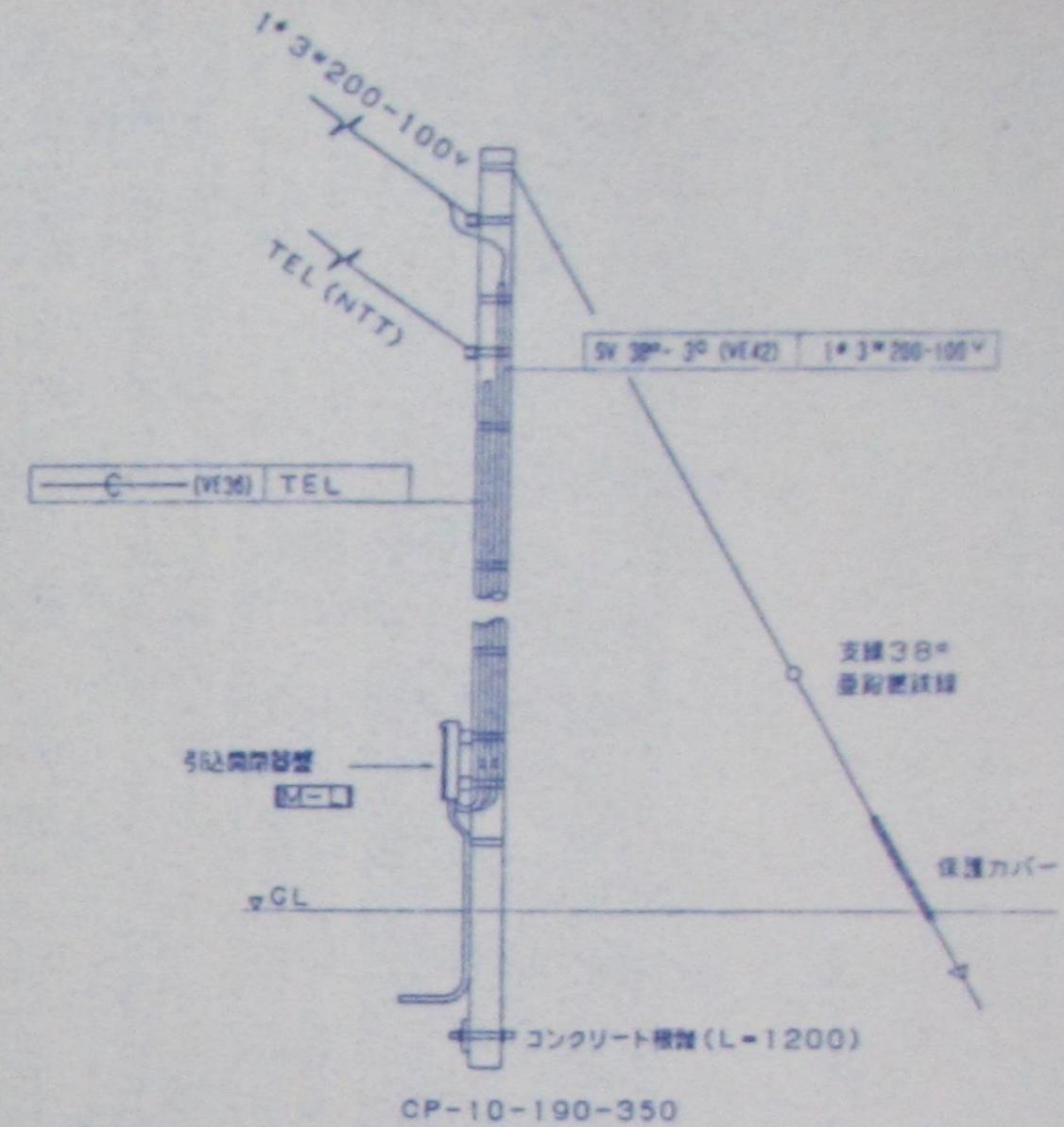
矩計図

矩計図 $S=1/30$

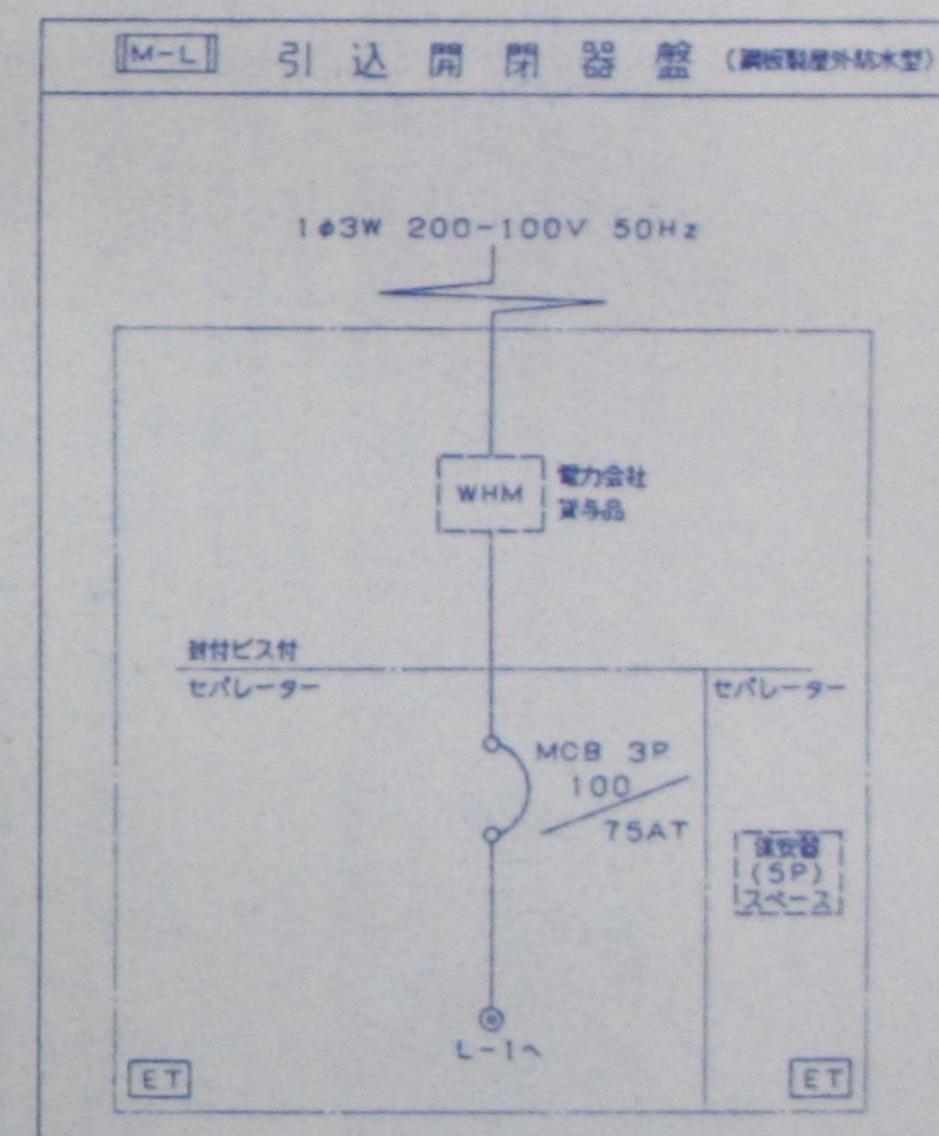
訂正	月 日	

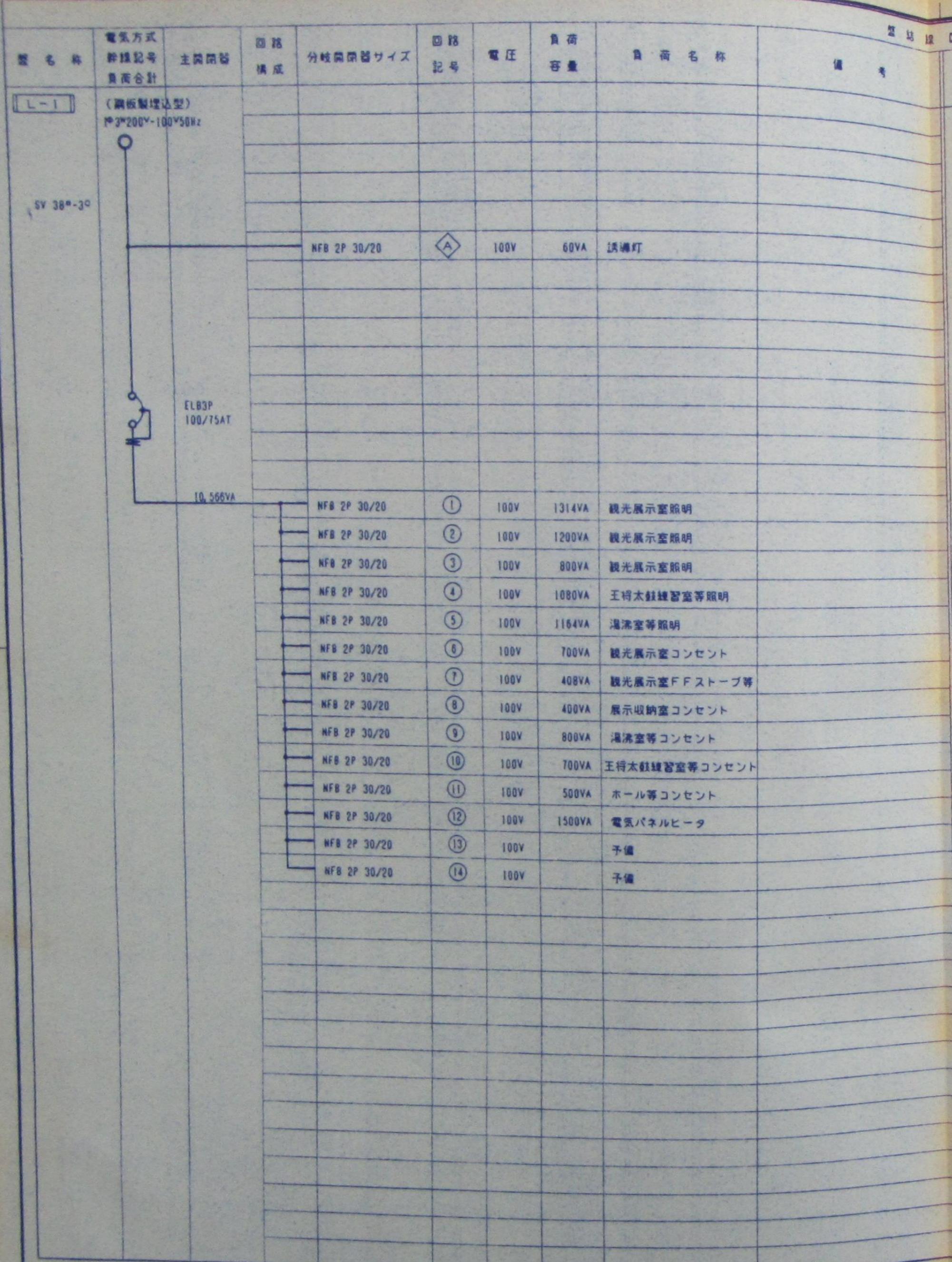
承認	担当	製図	設計年月日	工事名称	図面番号
				観光PRセンター新築工事設計図	
			縮尺 $S = 1/30$	図面名称 矩計図 N 2	A - 11





引込柱詳細図





訂正	月、日	
	・	
	・	
	・	

1000

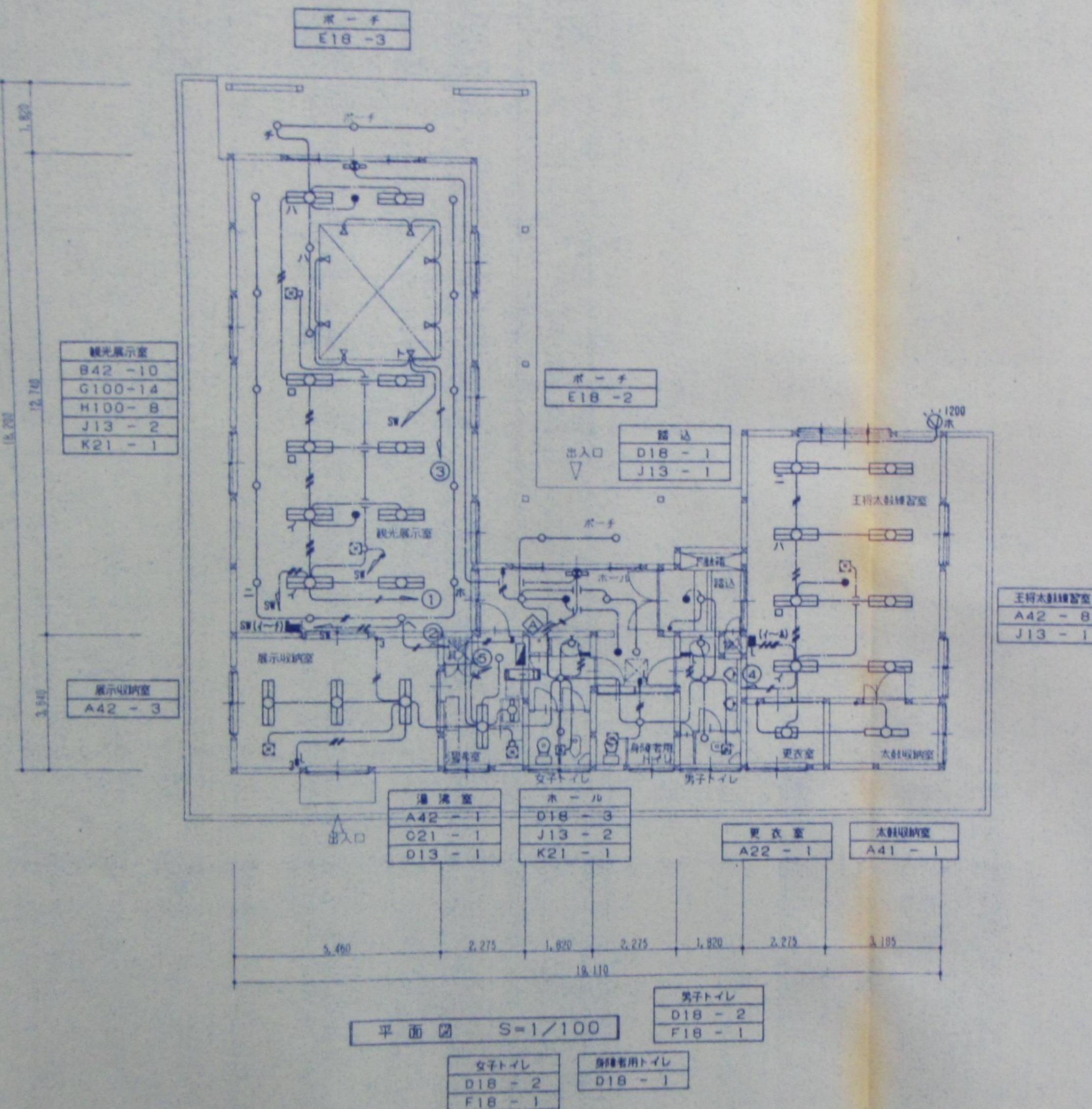
承 諾	擔 当	製 圖	設計年月日	工
			縮尺	圖

名称 観光PRセンター新築工事設計図

名称 盤結線図 (1)

图录索引

E - 4



凡例

記号	名稱	備考
■	電灯分電盤	説明図参照
□○□	蛍光灯 2灯用 天井付	説明図参照
□○□	蛍光灯 1灯用 天井付	説明図参照
○	ダウンライト 天井付	説明図参照
△	スポット 壁付	説明図参照
○○	投光器 壁付	説明図参照
○+	ブレケット 壁付	説明図参照
●	非常灯 天井付	説明図参照
□○□	講義灯 壁付	説明図参照
*	スイッチ 1P15AX1	フルカラー
*3	スイッチ 3W15AX1	フルカラー
*L	スイッチ 1P15APLX1 ランプ付	フルカラー
□	天井扇	機械設備工事
—	天井いんべい配管	

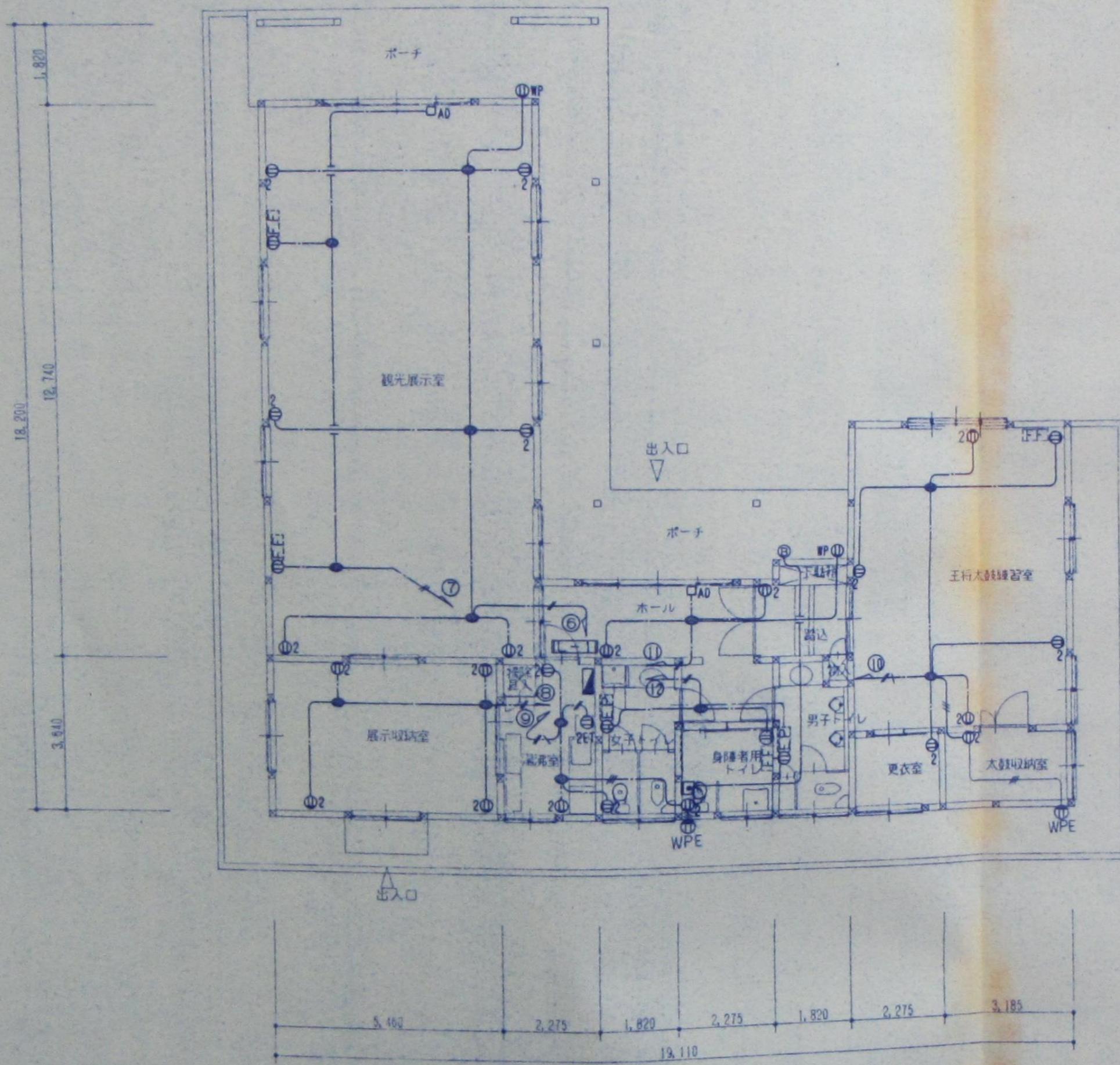
特記事項

特記なき配管記録は下記による。

- VVVF2.0 - 2°
- VVVF1.6 - 2°
- VVVF1.6 - 3°
- VVF1.6 - 2°×2
- VVF1.6 - 2°+3°
- VVF1.6 - 3°×2
- VVF1.6 - 2°×2+3°

凡例

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	結線図参照
①	コンセント 2P15AX1	フルカラー
①2	コンセント 2P15AX2	フルカラー
①ET	コンセント 2P15AX2+ET	フルカラー
①WP	コンセント 2P15AX3(防雨型)	
●	ジョイントボックス Fケーブル用	
□	非常用停電 1a 1b 埋込型	EK55相当品以上
◎	ランプ付警報フリッカブザー(防滴型)	EA5401相当品以上
□AD	自動ドア接続ボックス	建築工事
正△	FFストップ	機械設備工事
正□	電気バトルヒータ	機械設備工事
—	天井内ころがし配線	



特記事項

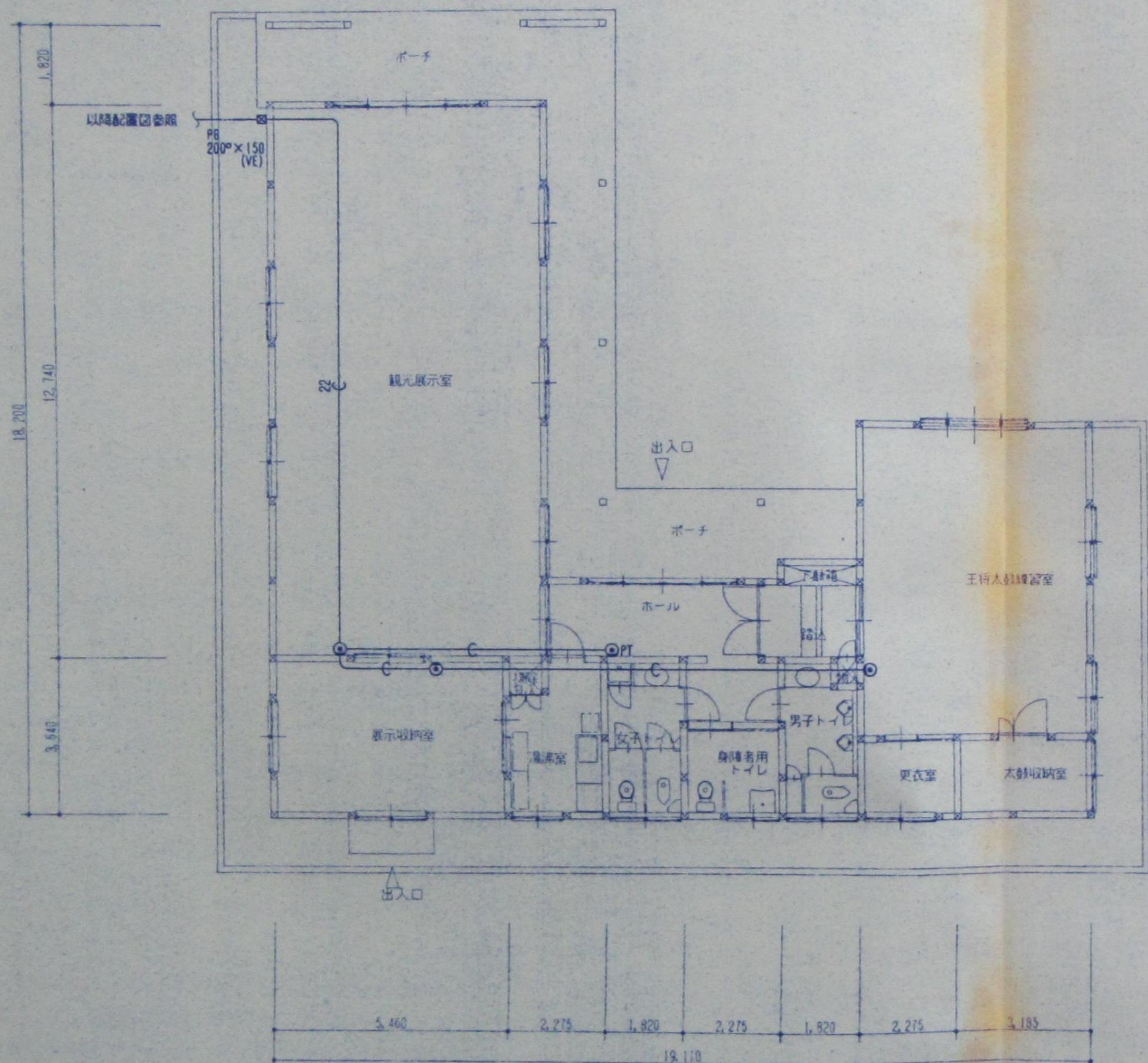
特記なき配管配線は下記による。

- VVVF 2.0 - 2°
- VVVF 2.0 - 3°
- VVF 1.6 - 2°
- VVF 1.6 - 3°

訂正	月、日
・	
・	
・	



承認	担当	製図	設計年月日	工事名称	図面番号
				観光PRセンター新築工事設計図	E-7
			S-1/100	図面名称 コンセント設備 平面図	



凡例

記号	名称	備考
○	電話用アットレットボックス	ノズルプレート
◎ PT	公衆電話用アットレットボックス	ノズルプレート
■	ブルボックス	
—	天井いんべい配管	

特記事項

特記なき配管記録は下記による。

— (PF16)
— (PF22)

印正	月 日
—	—
—	—
—	—



承認	担当	製図	設計年月日	工事名称
—	—	—	—	観光PRセンター新築工事設計図
範尺	S=1/100			図面名称
—	—			電話配管設備 平面図

E-8

機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名 観光PRセンター新築工事設計図

2. 工事場所 青森県上北郡百石町字新助川原地内

3. 設備概要

設備名	構造	階数	延床積(m²)	消防法施行令別表第1の区分	備考
観光PRセンター	木造	1階	194.60	16項(イ)	

4. 工事種目 (○印の付いたものを適用する。)

工事種目	工事種目	屋外
① 冷蔵庫設備		
② 空気設備	新設工事一式	
③ 自動制御設備		
④ 衛生器具設備	新設工事一式	
⑤ 排水設備	新設工事一式	新設工事一式
⑥ 排水設備	新設工事一式	新設工事一式
⑦ 暖温設備	新設工事一式	
⑧ 消火設備		
⑨ ガス設備	新設工事一式	
10 し尿消化設備		
11 消火器設備		
12 油送設備	新設工事一式	

5. その他

6. 設備概要 (○印の付いたものは、主要方式を示す。)

空気調和方式	・ 空気調節	・ 全空気方式	・ ファンコイルユニットダクト併用方式
	④ 溫風機房	④ 溫風機房	・ 空気加湿
		・ 全空気方式	・ ファンコイルユニットダクト併用方式
給水方式	④ 水道直結方式	・ 直接給水	・ 配管直結方式
		・ 恒温水槽方式	・ 自動給水方式
排水方式	建物内の汚水及び雑排水	④ 分流式	・ 合流式
		・ し尿消化槽	④ 下水道直結
給湯方式	・ 局部式	・ 中央式	
	・ 液体燃料式 (1号・2号)	(・沸騰式・燃焼式)	・ 直結送水管
消防設備方式	・ スプリンクラー	(・沸騰式・燃焼式)	・ 直結放水栓
	・ ハロゲン化物消火		・ 活動放水栓

II. 工事仕様

1. 共通仕様

該面及び特記仕様面に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官房は監修の設備設備工事共通仕様(平成5年版)及び施設設備工事規格(平成5年版)による。
2. はん類は下記による。

- 現場説明事項及び質疑応答事項
 - 特記仕様
 - 工事設計図書
 - 建設大臣官房官房は監修の設備設備工事共通仕様
 - 特記仕様
- 1)項目は番号に○印のついたものを適用する。

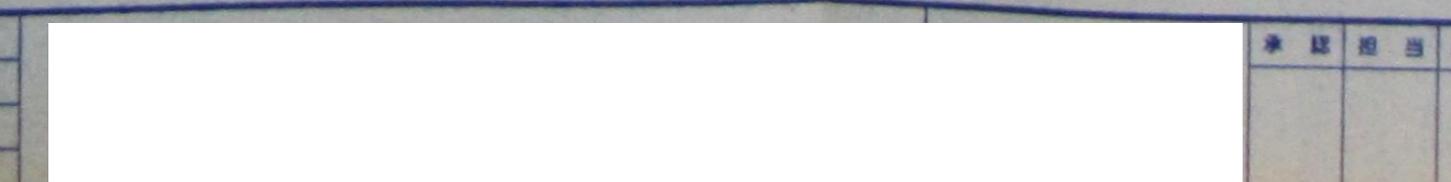
項目	項目	特記事項
1. 通用基準	1. 通用基準	常設工事写真作成標準(東北地方建設局監修平成5年版)による。 標準色見本板 東北地方建設局監修平成元年版による。
2. 技能士	2. 技能士	本工事に下記の当該種別技能士を適用させる。 ①配管施工技能士 ②水道工事責任技術者 ③排水設備責任技術者 ・ボイラー運転工事主任者 ④石油ガス設備士 ・浄化槽設備士
3. 工事用電力、水、その他	3. 工事用電力、水、その他	1) 本工事に必要な工事用電力、水などの費用はすべて請負者の負担とする。 2) 本工事に必要な関係官庁に対する諸手続、届出、申請の一切は遅滞なく行いその費用は本工事に含み、請負者が責任をもって代行するものとする。 3) 着工前に各種機器の製作図及び使用資材の承認並びに施工図を提出し、承認後制作施工するものとする。 4) 本工事に關係ある法令、条例、基準、規則に準拠するものとする。 5) 計算による変更工事に対しては請負金額の増減を原則として行わないものとする。 6) 防火区画貫通は関係法令及び工法により施工するものとする。
4. 工事用仮設物	4. 工事用仮設物	構内作ることが出来ない・出来ない・出来ない
5. 犀 土 处 分	5. 犀 土 处 分	①構外搬出適切処理 ・構内指示の場所に散らし ・構内指示の場所にたいむ
6. 完成図・その他	6. 完成図・その他	1) 告 密
7. 測定値	7. 測定値	1) は設工事下請報告書 本工事において下請契約金額が1件100万円以上の場合は報告書2通を監督員に提出する。
8. 容量の表示	8. 容量の表示	2) 主要機材資料メーカー報告書 本工事において使用する主要機材資料メーカーリスト2通を監督員に提出する。 完成写真はカラーサービス版でA4版スクラップ貼にし、撮影日、被写体の場所、工事種別を記入し、下記のものを原版とも監督員に提出する。完成写真3部、工事写真1部
9. はつり	9. はつり	①二つ折り本 3部 ④A3版半透明紙(WP)で全1部提出する。
10. 施工図	10. 施工図	7. 測定値完了後は速やかに下記の測定表を監督員に提出する。 ・ 温度 ・ 湿度 ・ 風量 ・ 音圧 ・ 浄化槽排水水质 ・ 圧力
11. 他工事との取扱い	11. 他工事との取扱い	8) 容量の表示などは、表示された出力以下の容量とする。 口) 冷温水機器等及び防火機器の能力、容量はその数値以上のものとする。 ハ) 電源の周波数は、50Hzとする。 イ) 電子等については、特に電気工事業者と事前打合せを行う。 ロ) 配管付属の制御盤及び操作盤の一次側電気工事はすべて
12. 計画図の保護及び	12. 計画図の保護及び	①別途 ・ 本工事 ハ) 配管付属の制御盤及び操作盤以降の二次側電気工事はすべて ②別途 ・ 本工事 ニ) すべてのスリーブ入れ及び箱入れは ③本工事 ・ 别途 ホ) スリーブ及び箱入れの施工工事は ④別途 ・ 本工事 ヘ) 天井、壁のボード類(乾燥床板も含む)の穴開け及び下地切込みは ⑤別途 ・ 本工事 イ) 着工図の保護 ⑥山砂 (道路部分)

埋め戻し土・盛土手	13. 埋	埋め戻し土・盛土	口) 埋め戻し土 ①端切り土の反箕土・山砂
	14. 防	防	塗ビライニング調査及びボリューム調査でねじ合する場合は皆留防査手を(○使用する・使用しない)
15. 配	管	管	土中埋設及びコンクリート埋設の調査は防査を(○行う・行わない)
16. 計	計	計	下記の配管要領は該面図の当該箇所による。特に記載のない管のサイズは、規格要領と同サイズとする。
17. 18. 19. 20.	17. 18. 19. 20.	17. 18. 19. 20.	・ 冷温水コイル取り ・ 加温管取り ・ 自動エア抜き装置 ・ 電熱温水ボイラー取り ・ チーリングユニット、達心ポンプ取り ・ 冷却塔取り ・ 冷温水、冷却水ポンプ取り ・ ファンコイルユニット取り ・ 屋外タンク取り ・ オイルサービスタンク取り ・ 受水タンク取り ・ 洗水ポンプ取り ・ 消火ポンプユニット取り ・ プロパンガスボンベ取り
21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 62			

暖 房 ・ 冷 房 ・ 空 気 調 和 設 備	16. 保 温 17. 電 気 工 事 の 範 围 18. 油 配 管 の 埋 设 19. 圧 力 計 及 び 速 成 計	<p>□) 内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。</p> <p>イ) は物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし(空気抜き弁も含む) 仕切は温水管の項による。</p> <p>□) 屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。</p> <p>ハ) 外気取り入れ風道の保温 <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない</p> <p>イ) 地盤熱交換器の配管配管は <input checked="" type="checkbox"/> 本工事 <input type="checkbox"/> 別途工事</p> <p>□) ばい煙濃度計及び遮隔油量指示計の指示計造の配管配管は別途、指示計以降の配管配管は本工事とする。</p> <p>ハ) 天井吊カセット形ファンコイルユニットと操作スイッチ箱の配管配管は <input checked="" type="checkbox"/> 本工事 <input type="checkbox"/> 别途工事</p> <p>地中埋設を行う場合には、所轄消防署の指導による。</p> <p>共通仕様書によるほか、図示の箇所に取り付ける。</p>			
		3. 配 管 材 料	イ) 一般用 <input type="checkbox"/> 地中用(地中に地中も含む)	・塩ビライニング調管(SGP-VB) <input type="checkbox"/> 塩ビライニング調管(SGP-VD)	・JIS10kg/m ² <input type="checkbox"/> JIS20kg/m ²
			・塩ビライニング調管(SGP-VFB) <input type="checkbox"/> 塩ビライニング調管(SGP-FVD)	・塩ビライニング調管(SGP-PB) <input type="checkbox"/> 塩ビライニング調管(SGP-PD)	・JIS10kg/m ² <input type="checkbox"/> JIS20kg/m ²
			・ポリ粉末調管(SGP-PPB) <input type="checkbox"/> ポリ粉末調管(SGP-FPB)	・ポリ粉末調管(SGP-FPD) <input type="checkbox"/> ポリ粉末調管(SGP-FPPB)	・JIS10kg/m ² <input type="checkbox"/> JIS20kg/m ²
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
排 氣 設 備	1. 使 用 事 項 2. ダ フ ク の 工 法 3. ダ フ ク の 分 支 方 法 4. 一 般 湿 流 管 の フ イ ド 5. 密 房 用 フ イ ド 6. 保 温 7. 電 気 工 事 の 範 囲	4. 井 領	水道直結部分 <input type="checkbox"/> JIS10kg/m ²	高圧水槽以上 <input type="checkbox"/> JIS5kg/m ² <input type="checkbox"/> JIS10kg/m ²	・一般水栓 <input type="checkbox"/> 手巻水栓
		5. 给 水 檻	・一般水栓 <input type="checkbox"/>	・一般敷地内(0.6m以上) <input type="checkbox"/> 公道部分(1.2m以上)	
		6. 埋 深 度	本工事に <input type="checkbox"/> 含む(水道事業者若き以外の井戸作業用) <input type="checkbox"/> 含まない		
		7. 埋 井 井 開 用 ハ ン ド ル	イ) 量水器側内の保溫を行う。	□) 屋外露出管(井、フランジ類を含む)は、共通仕様書第2版2.2表3(ハ)、厚さは、呼び径25mm以下のものは50mm、呼び径32mm以上のものは40mmとする。	
		8. 保 温	○度(本工事 <input type="checkbox"/> 別途工事) <input type="checkbox"/> 不要	○度(本工事 <input type="checkbox"/> 別途工事) <input type="checkbox"/> 不要	
		9. 水 道 加 入 金	・給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。		
		10. そ の 他	・水道事業者の指導等に従ずる。		
		11. 配 管 材 料	イ) 屋内汚水管 <input type="checkbox"/> 屋内排水管	・排水用塩ビライニング調管 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼調管(白)	・鋳メータ <input type="checkbox"/>
			・コーティング調管 <input type="checkbox"/> 排水用塩ビライニング調管	・メカニカル形排水管 <input type="checkbox"/> ポリール管(○VP <input type="checkbox"/> VU)	規メータはガス供給事業者より借用、子メータは販取りとする。
			・鋳管 <input type="checkbox"/> ポリール管(○VP <input type="checkbox"/> VU)	ハ) 屋外污水、排水管 <input type="checkbox"/> 二) 通気管、空調用排水管	口) 引込み販担金 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 委(別途工事 <input type="checkbox"/> 本工事)
自 動 制 御 設 備	1. 中 央 監 視 制 御 2. 自 動 制 御 方 式 3. 中 央 監 視 制 御 設 備 4. 定 温 基 因 5. 制 御 用 配 管 6. そ の 他	12. 排 水 設 備	・ヒューム管 <input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼調管(白)	・ビニール管(150φ以上) <input type="checkbox"/> ポリール管(○VP <input type="checkbox"/> VU)	イ) ガスボンベ(2 <input type="checkbox"/> 3用 <input type="checkbox"/> 販取り (10kg <input type="checkbox"/> 20kg <input type="checkbox"/> 50kg <input type="checkbox"/> 2本)
		13. 排 水 樹 ・ 汚 水 樹	・複数管型 <input type="checkbox"/> 青森県型 <input type="checkbox"/> 市下水道型 <input type="checkbox"/> ○石町下水道型	ロ) ガスメータ	鋳メータはガス供給事業者より借用、子メータは販取りとする。
		14. 通 気 金 物	○アルミ <input type="checkbox"/> 鋼鉄製 <input type="checkbox"/> ABS樹脂製	ハ) 鋼管防止用の波は <input type="checkbox"/> 別途工事 <input type="checkbox"/> 本工事	
		15. 别 途 設 置	トラップは(○別途 <input type="checkbox"/> 本工事)、立管は(本工事 <input type="checkbox"/> 別途 <input type="checkbox"/> 本工事)	二) 鋼管防止装置は <input type="checkbox"/> 本工事とし施工方法は波(施工SS)による。	
		16. 排 水 管 ・ 排 水 管	排水管は、衛生器具などの取付け完了後試験又は通水試験を (○行う <input type="checkbox"/> 行わない)	図示の場所に <input type="checkbox"/> 取付ける(分岐型 <input type="checkbox"/> 一体型) <input type="checkbox"/> 取付けない	
		17. 排 水 管 ・ 排 水 管	・不要 <input type="checkbox"/> 委(○別途工事 <input type="checkbox"/> 本工事)	外部出力端子 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> なし	
		18. 保 温		6. 排風機運動用スイッチ <input type="checkbox"/> 取付けた部屋には、アクリル製注意板を貼付ける。	
		19. 電 氣 工 事 の 範 囲		7. 埋 深 度	・一般敷地内(<input type="checkbox"/> 以上) <input type="checkbox"/> 公道(<input type="checkbox"/> 以上)
		20. 保 温		8. そ の 他	配管工事は原則としてガス供給事業者の責任施工とする。
		21. 中 央 監 視 制 御			
衛 生 器 具 設 備	1. 大 便 盥 洗 浴 管 2. 大 便 盥 洗 浴 用 ラ ン グ 3. 小 便 盥 洗 浴 管 4. 小 便 盥 洗 浴 用 ハイ タ ン グ 5. 小 便 盥 洗 浴 管 6. 小 便 盥 洗 浴 管 7. 注 水 板	1. 配 管 材 料	・一般用は鋼管とし、壁又は床剥離は被覆調管又は保溫付き被覆調管とする。 ・ステンレス管(SUS304) <input type="checkbox"/> 鋼管塗装調管		
		2. 井 領	給水設備の当該事項による。		
		3. 湯 浴 器 附 け 配 管	機器に接続する給水配管、給湯管は鋼管又はステンレス製のフレキシブルチューブを使用してよい。		
		4. 湯 浴 器 の 排 気 管	・本工事(厚さ0.5mm以上のステンレス調査) <input type="checkbox"/> 別途		
		5. 保 温	イ) 調査タンクの保溫を <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない		
		6. 附 溜 貯 金 等	ロ) コンクリート内埋込管は防水麻布2重巻とする。		
		7. 大 便 管 及 び 小 便 管 の 壁 に 取 付 け る。(鋼管製とする)	ハ) 湯浴器排気管の保溫は <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない		
1. 電 子 機 器 2. 電 子 機 器	1. 電 子 機 器 2. 電 子 機 器	1. 配 管 材 料	イ) 一般 <input type="checkbox"/> 地中埋設部	・配管用炭素鋼調管(白) <input type="checkbox"/> 外面被覆調管(SGP-VS)	工事名称 観光PRセンター新築工事設計図
			・压力配管用炭素鋼調管 <input type="checkbox"/> 外面被覆調管(SGP-PS)		図面番号 M-2

訂正
月、日
年
月
日

技メーターは 販取り
子メーターは 販取り
イ) 技メーター用 水道事業者の指定品 横浜市(横浜) 45



承 認 者 名	担当 者 名	製 図 者 名	設計年月日	工事名称
				観光PRセンター新築工事設計図

図面名称
特記仕様書 (2)

暖房機器表

記号	名 称	仕 様	電 動 機			数 量	備 考
			Φ	V	W		
FF-1	石油温風暖房機	FF式 暖房能力: 8430 kcal/h 使用燃料: 白灯油 (1.10/h) 給排気筒セット 他一式共	1	100	104	2	観光展示室
FF-2	石油温風暖房機	FF式 暖房能力: 6890 kcal/h 使用燃料: 白灯油 (1.10/h) 給排気筒セット 他一式共	1	100	104	1	王将太鼓練習室
EPH-1	電気パネルヒーター	壁掛形 暖房能力: 370 kcal/h サーモスタット内蔵 メクラプレート共	1	100	500	1	女子トイレ
EPH-2	電気パネルヒーター	壁掛形 暖房能力: 360 kcal/h サーモスタット内蔵 メクラプレート共	1	100	500	1	男子トイレ
EPH-3	電気パネルヒーター	壁掛形 暖房能力: 230 kcal/h サーモスタット内蔵 メクラプレート共	1	100	500	1	身障者用トイレ
OT-1	ホームタンク	屋外設置形 消防用表示 容量: 白灯油 (490L) ストレーナ、バルブ、通気全具 他一式共 防油堤: 110%以上 (建築工事)	—	—	—	1	屋 外

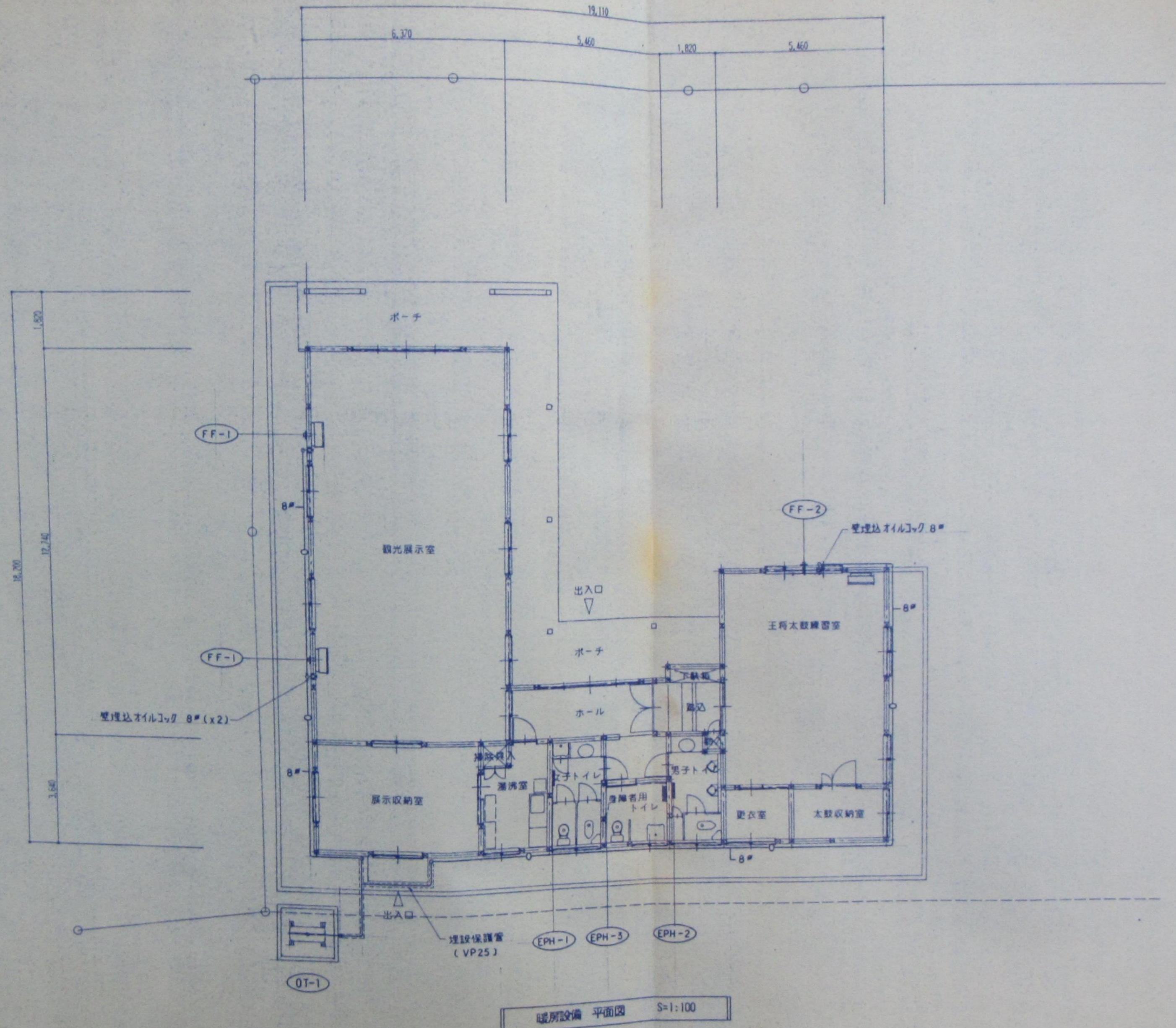
勘正	月 日

承 諾	相 当	製 図	設計年月日	工事名称
				観光PRセンター新築工事設計図

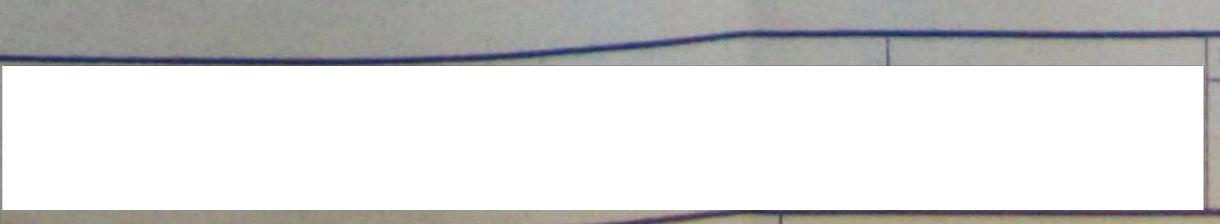
縮尺 —————

面名稱	暖房機器表
-----	-------

M-7



初正	月 日
.	
.	
.	



承 諸	担当	製 図	設計年月日	工事名称
				観光PRセンター新築工事設計図 図面名 S=1:100

図面番号
M-8

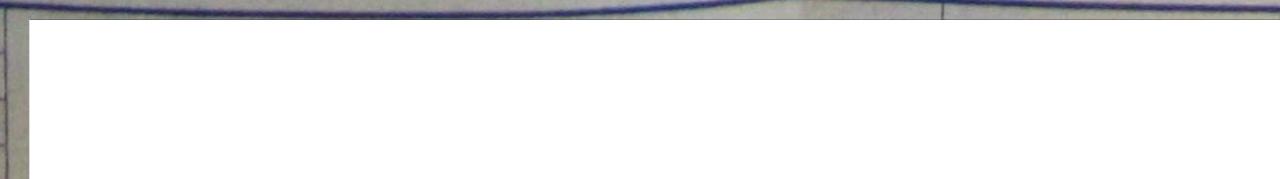
換気機器表

火気使用室における建設省告示第1826号に依る換気計算

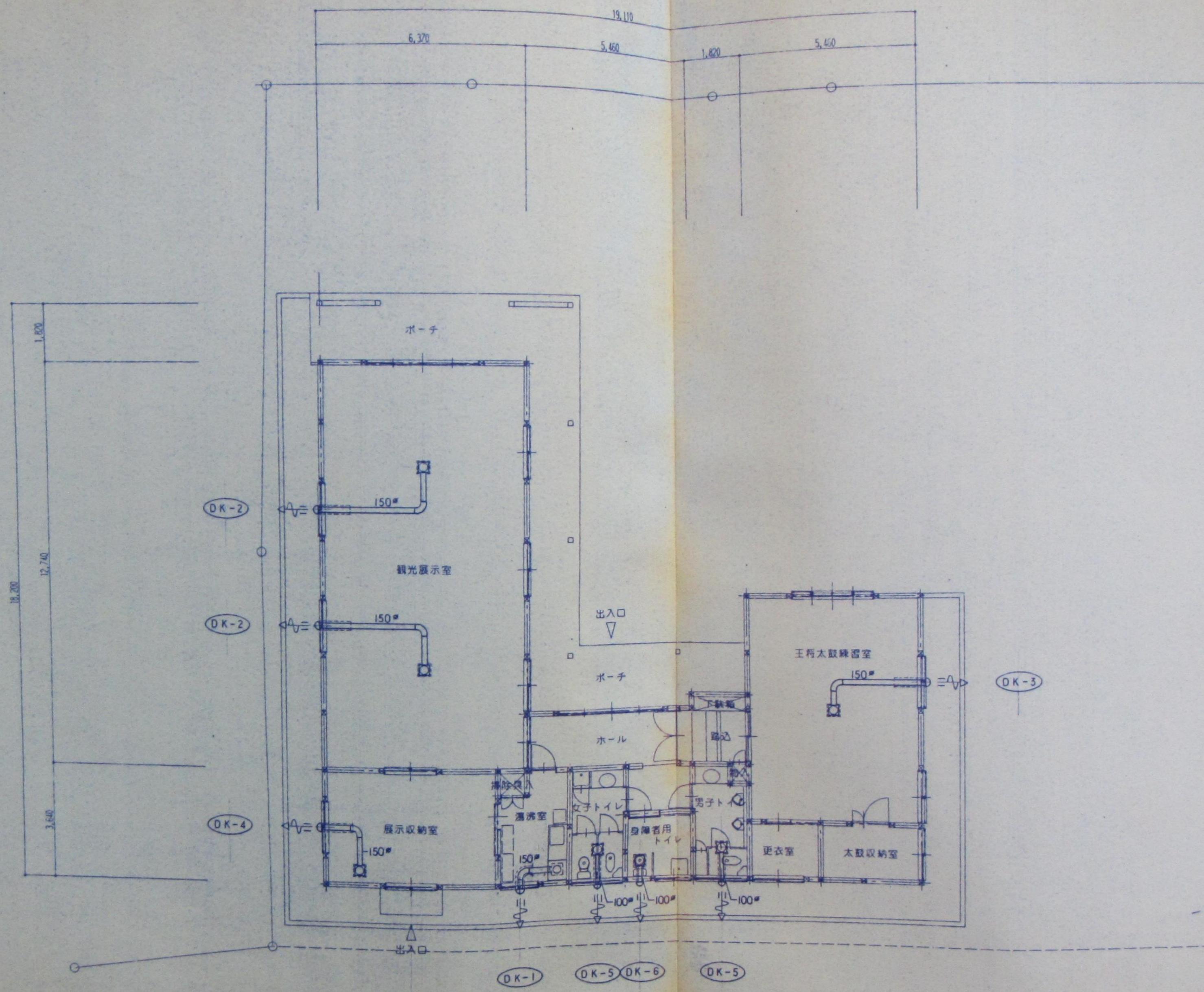
記号	名 称	仕 様	電 動 機			数 量	場 所
			K	V	W		
DK-1	レニラード	低騒音タイプ 150φ 630m ³ /h×8.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	87	1	湯沸室 (建 築 工 事)
DK-2	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 150φ 370m ³ /h×5.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	74	2	観光展示室
DK-3	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 150φ 290m ³ /h×3.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	42	1	王将太鼓練習室
DK-4	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 150φ 250m ³ /h×3.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	25	1	展示収納室
DK-5	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 100φ 150m ³ /h×4.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	22	2	女子トイレ 男子トイレ
DK-6	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 100φ 110m ³ /h×3.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	16	1	身障者用トイレ

室 名	湯 沸 室	
使用ガス種別	LPG	12000kcal/kg
換気方式・計算式	第三種換気	V=40K・Q
使用ガス器具 及 び 消 費 量	1口コンロ 5号湯沸器	0.16 kg/h 0.8 kg/h
		0.98 kg/h
必 し 换 気 量	V=40×12.9m ³ /kg×0.98kg/h=505.68m ³ /h	
設 置 排 風 機	DK-1	510m ³ /h
有 効 換 気 の 判 定	505.68m ³ /h < 510m ³ /h	OK

訂正	月 日



承 認	担 当	製 国	設計年月日	工事名称
				観光PRセンター新築工事設計図
			規格	四面名称
			—	換気機器表・計算書



換気設備 平面図 S=1:100

※排気用スパイラルダクトは外壁から1.0mまで防露施工(RW25t)する

訂正	月 日
•	
•	
•	

承認	担当	製図	設計年月日	工事名称
				観光PRセンター新築工事設計図
			S=1:100	換気設備 平面図

図面番号
M-1